



TOHOKU BLOCK
THE 42ND CONVENTION
AOMORI MUTSU SHIMOKITA

むつつの魅力の彩北体験

令和5年

10月6日(金)・7日(土)・8日(日)

【主催】東北ブロック商工会議所青年部連合会 / 日本商工会議所青年部

【主管】むつ商工会議所青年部 / 青森県商工会議所青年部連合会

青森県
むつ
ブロック
大会

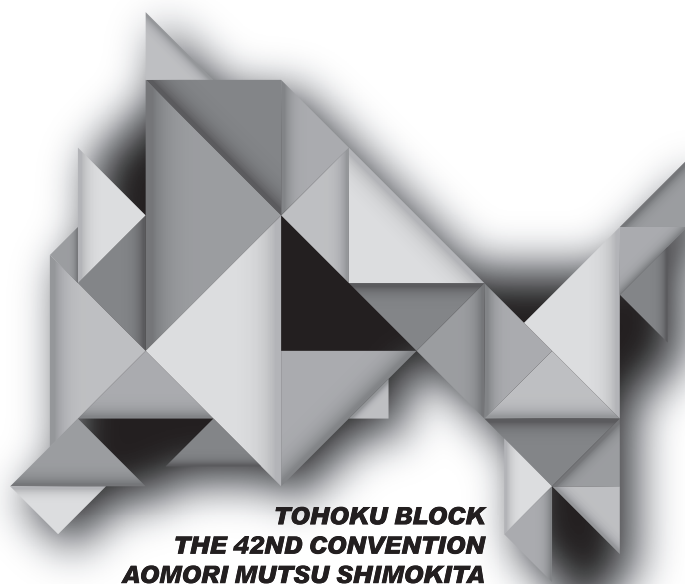
青森むつつ下北大会



日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会



日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大会



**TOHOKU BLOCK
THE 42ND CONVENTION
AOMORI MUTSU SHIMOKITA**

#CHANCE

❖ むつ下の魅力の彩北体験



Young Entrepreneurs Group
Youth, Energy, Generalist

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。

**私たちはYEGとして、地域を愛し、日本（にっぽん）を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。**

YEG宣言趣旨

私はYEGとして、夢に挑む。

商工会議所青年部会員は、YEG精神の下に、研鑽と交流を通じて、企業家精神をより一層高め、大きく成長していかねばならない。一人一人のYEGは、自らの企業の発展を原点として、さらに地域社会への貢献を考え、それぞれの夢に若さと情熱をもって積極果敢にチャレンジし、経済人としての自己実現を図っていかねばならない。

私たちはYEGとして、地域を愛し、日本（にっぽん）を愛する。

商工会議所青年部は、地域を愛し、日本（にっぽん）を愛する。活動の基盤を地域に置き、独自の歴史と文化、その地域の特性を十分活かして、豊かな住みよい地域を創造していく。地域を愛することがYEGの原点であり、YEGとして誇りをもって地域と日本に貢献する。一人一人のYEGが、そして若き企業家集団であるYEGが、次代の担い手として、今後とも商工会議所活動の一翼を担い、より活力ある地域と日本の経済社会の実現に向けて全力で取り組んでいく。

すべてのYEGは、連帯の証となる。

全国商工会議所青年部連合会（日本YEG）は、すべてのYEGの連合体として、日本商工会議所の方針を踏まえ、YEG（若き企業家集団）のビジョンを内外に示し、各地青年部の活動支援・調整、組織強化を行い、そのネットワークを最大限に活かして、地域の枠を超え、青年部の活性化と機能強化を図っていく。そして、私は、また私たちは、全国的な交流を促進し、YEG精神の一層の高揚を図り、連帯の証となる。

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住み良い郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は
一、地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑽につとめよう
一、国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めよう
一、豊かな郷土を築くために、創意と工夫、勇気と情熱を傾けよう
一、文化を伝承しつつ、新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
一、行動こそ次代を先駆けるべき青年の責務と信じ、力を合わせ国の礎となろう

商工会議所青年部の歌 「伸びゆく大地」

作詞：石井耕二 作曲：石井 勲

1. 伸びゆく大地

伸びゆく大地日本の
拡がる街なみ青い空
集える仲間はそれぞれに
地域を支える気概持つ
願いをかたちに変えるため
商工会議所青年部
求めて我らは立ち上がる

2. 幾山河を

幾山河を越えていく
道は果てなく遠いけど
夢追う気持ちは忘れない
人と人とが語りあい
心と心を結ぶため
商工会議所青年部
時代を我らは先駆ける

3. 自由の海の

自由の海の渚には
世界の波が打ち寄せる
歴史の舵はいつの世も
熱ある者が取ってきた
豊かな郷土を築くため
商工会議所青年部
明日に我らは船出する

目次

1 …	開催要項	
3 …	ご挨拶・ご祝辞	日本商工会議所 会頭 日本商工会議所青年部 会長 東北ブロック商工会議所青年部連合会 会長 東北経済産業局 局長 青森県知事 むつ市長 海上自衛隊大湊地方総監 海将 東北六県商工会議所連合会 会長 青森県商工会議所連合会 会長 むつ市商工会議所 会頭 青森県商工会議所青年部連合会 会長 むつ商工会議所青年部 会長 会津若松商工会議所青年部 会長 第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会 大会会長 第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会 実行委員長
		小林 健 木村 麻子 山本 郷 戸邊 千広 宮下宗一郎 山本 知也 泉 博之 藤崎三郎助 倉橋 純造 内田 大輔 川村 祐樹 横田 俊行 阿部雄一郎 太田 憲仁 佐藤 俊介
18 …	大会プログラム	
19 …	記念式典次第	
20 …	記念講演	
24 …	来賓名簿	
25 …	日本商工会議所青年部 令和5年度役員	
26 …	日本商工会議所青年部 令和5年度委員会	
28 …	東北ブロック商工会議所青年部連合会 令和5年度役員	
29 …	東北ブロック商工会議所青年部連合会 令和5年度委員会	
30 …	青森県商工会議所青年部連合会 令和5年度役員	
31 …	東北ブロック大会実行委員会組織図	
32 …	東北ブロック大会のあゆみ	
34 …	東北ブロック内単会所在地	
35 …	東北ブロック内単会紹介（岩手・宮城・秋田・山形・福島・青森）	
51 …	開催地PR	
55 …	ご協賛企業・団体各位 ご紹介	

日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会『青森むつ下北大会』 開催要綱

1. 目的

経済・社会環境が大きく変化する中で、企業と地域社会の次代を担う青年経済人が互いに交流と連携の輪を拡げ、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割を認識し、その実現のために青年経済人として何をなすべきかを研究し研鑽することを目的とする。

2. 令和5年度 日本商工会議所青年部スローガン

「Challenge Everything」
～持続可能で心豊かな未来への貢献～

3. 令和5年度 東北ブロック商工会議所青年部連合会スローガン

「伝承と挑戦」
～生み出そう未来東北～

4. 開催地テーマ

「#CHANCE」
～むっつの魅力の彩北体験～

《大会趣旨》

日本国内において新型コロナウイルスの感染拡大がようやく落ち着きを見せる中、今もなお、世界的な経済面における多大な影響は落ち着きをみせていません。我が国、日本も例に漏れず、原油の高騰や半導体不足、建築資材の供給不足が続き、新型コロナウイルス発生前の経済活動の復活まで先が見えていません。その大きな混乱が続く中において、私たちは明るい未来へ向け、一人一人が手をとりあい、この難局を乗り越えていかなければなりません。

我々、商工会議所青年部においても、ここ数年活動自体を大幅に制限してきましたが、当たり前の事が当たり前でできるようにしていただけるように新生活様式を常態化させるべくWEBを活用した形での活動や、会議や懇談の場におけるソーシャルディスタンスの導入をおこない、今まで以上に交流し、連携の輪を広げることで歩みを止めることなく前進してきました。青年経済人として、今訪れつつあるアフターコロナへ向けて、さらに新しい時代を見据え、地域社会の発展、その新しい形を模索しながら、活動の歩みの加速が必要になると思います。

青森むつ下北大会は、今の状況を鑑み、これからの新しい時代に向かって、大会テーマとして「#CHANCE」～むっつの魅力の彩北体験～というテーマを掲げ開催いたします。岩手いちのせき大会からようやく現地での当たり前の開催が行われるようになり、これまで、新型コロナウイルスに開催方法を振り回されてきた白河YEG、塩釜YEGの皆様が苦勞して東北ブロック大会の開催を中断することなく続けてきたことが実を結び始めたのではないかと実感できるようになり、本大会では、今後このようなパンデミックに振り回されることがないことを祈念し、当たり前のよう東北ブロック大会では商工会議所青年部が集うCHANCEとなり、会員相互が交流と研鑽を重ねるCHANCEを得て、地域社会の発展に寄与するためのCHANCEとしていくことを願っております。地域社会が豊かになれば、東北各地の発展へとつながり、東北を一つにし、明るい日本経済をはじめ、地域を担う子供たちの未来へつながっていくものと信じております。文化を伝承しながら新しい文化へ向かって前進し、笑顔あふれる時間を共有しながら地域の発展のために会員が研鑽できる、そのような大会にいたします。

商工会議所青年部の交流と研鑽により、世界的に持続可能な地域社会の実現に向け、大きな役割を担うこともSDGsの取り組みになり、そのために多くの商工会議所青年部が集いあい、一関で招いた福を、新しいものを創り出すためCHANCEにかえ、地域の魅力を見つけることで、先人たちが残してくれた地域に根差した素晴らしい思想や文化を今一度見つめ直し、持続可能で多くのCHANCEを呼び寄せることができる地域社会を実現するための研鑽の場といたします。

第40回東北ブロック大会宮城しおがま大会から受け取った【Gift】により、第41回東北ブロック大会岩手いちのせき大会によってもたらされたアフターコロナという大きな転換期という福を受け取り、受け取ったバトンを令和6年度の東北ブロック大会へつなぐ、新時代の幕開けとなるような大会といたします。

5. 主催

東北ブロック商工会議所青年部連合会／日本商工会議所青年部

6. 主管

むつ商工会議所青年部／青森県商工会議所青年部連合会

7. 後援

東北経済産業局／青森県／むつ市／東北六県商工会議所連合会／ 青森県商工会議所連合会／
青森県内商工会議所／むつ商工会議所

8. 来賓

東北経済産業局長／青森県知事／むつ市長／東北六県商工会議所連合会会長／青森県商工会議所連合会会長
青森県内商工会議所会頭／むつ商工会議所会頭／青森県内国会議員／青森県議会議員／他関係団体長

9. 開催日時および場所

東北ブロック諸会議・秋の会長会議

日 時：令和5年10月6日(金) 9：10～

場 所：むつグランドホテル（住所：青森県むつ市大字田名部字下道4）

未来への政策提言委員会／未来への伝承と挑戦委員会／

各種大会連携室

9：10～10：40

役員会

10：50～12：30

臨時総会

12：45～13：25

秋の会長会議

13：40～17：30

宿泊者懇親会

18：00～20：00

東北ブロック大会青森むつ下北大・記念式典

日 時：令和5年10月7日(土) 15：00～17：00

場 所：下北文化会館 大ホール（住所：青森県むつ市金谷1丁目10-1）

記念講演

日 時：令和5年10月7日(土) 10：00～11：30

場 所：下北文化会館（住所：青森県むつ市金谷1丁目10-1）

大懇親会

日 時：令和5年10月7日(土) 18：00～20：30

場 所：むつマエダアリーナ（住所：青森県むつ市真砂町9-1）

分科会

●第1分科会（歴史・山）見学

日本三大霊山と称される恐山を体感しよう

日時：令和5年10月7日(土) 9：30～14：30

場所：むつ市役所集合↔むつ市恐山

（青森県むつ市中央1丁目8-1）

●第2分科会（歴史・食）体験事業

むつ下北のソウルフードの1つ、べこもちを作って、

むつ下北の魅力を体感しよう

日時：令和5年10月7日(土) 9：00～14：00

場所：下北文化会館集合↔むつ市中央公民館

（青森県むつ市金谷1丁目10-1）

●第3分科会（歴史・海）見学

会津斗南藩にゆかりのある地を巡ろう

日時：令和5年10月7日(土) 9：00～14：00

場所：下北文化会館集合↔むつ市・東通村

（青森県むつ市金谷1丁目10-1）

●第4分科会（歴史・産業）見学

日本五大総監部の大湊の施設を廻ろう！（昼食付）

日時：令和5年10月7日(土) 9：00～14：30

場所：海上自衛隊大湊地方総監部

（青森県むつ市大湊4-1）

●第5分科会

ビジ活クエストweb3

日時：令和5年10月7日(土) 10：00～13：00

場所：むつ来さまい館 イベントホールB

（青森県むつ市田名部町10-1）

●OBサロン

日時：令和5年10月7日(土) 12：00～14：30

場所：むつグランドホテル

（青森県むつ市大字田名部字下道4）

エクスカーショ

●ゴルフ

東北ブロックYEG親睦ゴルフコンペ

日時：令和5年10月8日(日) 8：30～15：30

場所：東奥カントリークラブ

（青森県青森市滝沢字下川原190-1）



ご挨拶

日本商工会議所
会 頭

小 林 健

日本商工会議所青年部「第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

わが国は、ようやくコロナ禍から活動が正常化し、夏祭りなど各地で賑わいを見せました。青年部の皆様も大いにご活躍されたことと存じます。多くの企業の売上も、コロナ禍前まで回復してきましたが、物価高などコスト増により、収益確保が難しい状況が継続しています。特に、人手不足が深刻化し、人材確保のために、中小企業の6割以上が賃上げを行っています。うち7割は、収益が改善しない中での「防衛的な賃上げ」となっています。しかし、国民や企業に厳しいコストプッシュ型ではありますが、30年ぶりの物価上昇と設備投資や賃上げの機運が高まり、「停滞から成長」への転換局面を迎えました。

今こそ、経営者である皆様が自己変革に果敢に挑戦し、民間活力による地方創生、ひいては、日本の成長を実現していくことが必要です。このためにも、次代の地域を担うリーダーである、YEGの力と情熱が極めて重要となります。

今年度、木村会長は「Challenge Everything」をスローガンに掲げ、心豊かで持続可能な新しい地域社会の実現を目指して、未来を創るための事業を展開されています。

例えば、持続可能な循環型社会への意識醸成として、Co₂を2,030kg削減することを目標に行動する「Challenge2030」、ダイバーシティへの男女共同参画の正しい理解を推進するセミナー、アセアン3か国を訪問し、各国青年経済団体との交流を通じた海外ビジネスへの挑戦、新しいビジネスプランを磨き上げ、支援する「ビジネスプラン・コンテスト」などの事業活動は、大変心強い限りです。

こうした活動力溢れるYEGの皆さんに、お願いしたいことを3点申し上げます。

1つ目は、「価格転嫁を商習慣として定着させる」活動です。商工会議所は、原価を吸収し、適正な利益を確保する「価格の適正化」に向けて、国や自治体などと協働し「パートナーシップ構築宣言」を推進し、実効性を高めるため、政府には監視機能の強化を求めています。お陰様で、宣言企業は3万社を超え、我々の調査では約8割が価格交渉を行い、コストアップ分の半分ほどは転嫁できるようになってきています。ぜひとも、より多くのYEGの皆さんにも宣言いただきたいと思えます。

2つ目は、「自己変革への挑戦」です。自発的で持続的な賃上げを実現するためにも、新たな付加価値の創造・拡大による原資の確保が不可欠です。親会の経営支援も活用し、事業再構築や事業承継、デジタル化による生産性向上、脱炭素や省エネ、イノベーションの創出、海外展開による外需取込みなどに、積極果敢に挑戦していただきたいと思えます。

最後の3つ目は、「親会への政策提言」です。地域を支える中小企業や産業の振興と、地域資源を活用し、人と企業が輝く地域を創造していくためには、YEGの皆さんの新しい視点によるアイデアと行動力が大きな鍵となります。地域の課題や意見を集約し、親会に積極的に提言するとともに、地域の多様な主体を巻き込んで、活動を展開していただきたいと思えます。

日本商工会議所は、地域発の経済好循環の創出に向け、全国515商工会議所とYEGの皆様の挑戦を全力で後押ししてまいります。

結びになりますが、大会のご成功と、ご参会の皆様のみまますのご発展をお祈り申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

日本商工会議所青年部
会長

木村麻子

「第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大大会」の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

変化の激しい時代の中で、今日の日を迎えられましたのも、ひとえに現在に至るまで並々ならぬご尽力をいただきました先輩方々と現役メンバーの情熱、そしてすべての関係者の皆様のお力添えの賜物とあらためて心より感謝を申し上げます。

令和5年度（2023年度）日本YEGは、Challenge Everything～持続可能で心豊かな未来への貢献～

というスローガンのもと、日本の成長戦略として推し進めるべき3つの重点テーマを掲げ時代が求める新しい社会への変革を推進し、さらなる組織の活性化と文化的発展への貢献、心豊かで持続可能な新しい地域社会の実現に向けて活動しております。

①SDGs・人と自然の持続可能な共生社会推進
～人と自然の共生社会実現への貢献～

②DX推進
～誰一人取り残されないデジタル社会実現への貢献～

③男女共同参画推進
～共に支え合い、笑顔が溢れる日本の未来社会の共創・男女共同参画推進への貢献～

ポストコロナ社会、超高齢化社会、地球温暖化といった多くの社会課題に直面し、時代はまさに大変革期を迎えています。そしてそんな時代だからこそ、地域と地域を繋ぐブロックの力が重要であり、同時に全国9ブロックの連携の重要性がますます高まっているのではないのでしょうか。一単会では、一地域ではできないことも、ブロックが繋ぐ仲間の絆、そして連携の力があれば可能性は無限大であり、この力こそが日本の未来の希望そのものであると思っております。

新たな文化を創るための挑戦、未知なる道へ一歩を踏み出すことはときに摩擦や痛みを伴います。しかし、「地域の持続可能な未来社会の実現」のためには、私たちYEGの情熱と勇気ある行動が必要です。

日本YEGも、皆様のチャレンジを全力で応援し、伴走して参りますので、共に新しい文化創造に向かって果敢に挑戦いたしましょう。

結びに、東北ブロック大会の開催にあたり多大なご支援・ご尽力をいただきましたむつ商工会議所をはじめ関係各位に心からの敬意を表し、重ねて皆さまの企業・地域の益々の発展と、皆さまのご家族のより良き未来を祈念してご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

東北ブロック商工会議所青年部連合会
会長

山 本 郷

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会が盛大に開催されますことを心よりお喜びを申し上げます。

また、大会主管地であるむつ商工会議所青年部ならびに青森県商工会議所青年部連合会の皆様のご尽力に敬意を表します。

昨年度の第41回東北ブロック大会 岩手いちのせき大会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るさなかではありましたが、多くの方々のお支えにより3年ぶりのフルスペック開催となりました。しかし、当時は、新型コロナウイルス感染拡大が終息はしておらず、感染症対策に細心の注意を払い開催方法を日本商工会議所青年部と協議を重ね、フルスペック開催へとこぎつけたことが思い出されます。

第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会におきましても感染症法上の新型コロナウイルスが2類から5類への引き下げもあり、フルスペック開催となる運びとなりました。そのなかで、新時代への幕開けの大会として『「#CHANCE」～むっつの魅力の彩北体験～』という大会テーマを掲げ、最大限にむつ市の魅力を大会に入れ込み、新時代へ向かうための学びと研鑽を提供するべく大会主管地であるむつ商工会議所青年部と青森県商工会議所青年部連合会が一致団結し準備をして参りました。ぜひ、大会へご参加の皆様には、その想いを胸に刻み、青森むつ下北大会で多くの

学びと研鑽をし、多くの交流をしていただき、ご自分の地域へ何かしらの気付きを持ち帰り、地域発展の寄与への一助としていただければ幸いです。

令和5年度東北ブロック商工会議所青年部連合会では、『伝承と挑戦～生み出そう未来東北～』というスローガンを掲げております。多くの先輩方が繋いできた素晴らしいものはしっかりと伝承し、さらに繋いでいく、そして新たな事へ積極的にチャレンジしていくことで、明るい東北を生み出していくため東北ブロック内45単会の皆様のご協力とご支援をいただき、45単会の活動へと繋げていけるよう連合会として活動を展開しております。本大会内でも秋の会長会議で経済産業省東北経産局ご協力のもと、東北経産局の皆様と6県連会長45単会会長によって商工会議所青年部伝統事業である風会議を行います。ぜひ、しっかりと意見交換を行いながら、親会である各地商工会議所と連携をとり各地にて積極的に政策提言活動を行っていく足掛かりとしていただきたいと思いますと考えております。

結びに、本大会開催にあたり多大なるご支援をいただきました関係各位に厚く御礼を申し上げますとともに、多大なるご協力をいただきました日本商工会議所青年部、全国の商工会議所青年部会員皆様へ感謝の気持ちをお伝えし、ご挨拶といたします。



ご 祝 辞

東北経済産業局
局 長

戸 邊 千 広

「日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会」が、ここむつ市で盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様におかれては、東北の次代を担う青年経済人として、若い感性と行動力を活かし、創意工夫にあふれる事業を実践いただいていることに敬意を表します。

今年は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられ、コロナ禍で変更を余儀なくされた社会環境が新たな局面を迎えています。

政府は、6月に「経済財政運営と改革の基本方針2023」を閣議決定しました。我が国が構造的な変化と課題に直面する中、30年ぶりとなる高い水準の賃上げや企業部門における旺盛な投資意欲など、足下での前向きな動きを更に力強くすべく、新しい資本主義の実現に向けた取組を加速させてまいります。

東北経済産業局は、昨年、組織理念として「共感・協奏・変革 ともにつくる東北。」を掲げました。多くの課題に直面している東北を、将来にわたって持続可能な地域とするた

め、次世代の東北づくりを皆様とともに進め、企業の成長に向けた取組の後押しや、新たな挑戦へ踏み出しやすい環境を整備してまいります。

青年部の皆様とは、ここ東北の地で産業を振興していく立場として、問題意識を共有し、ベクトルを同じく連携していきたいと思えます。当局としては、青年部のエネルギー溢れる活動から大変刺激を受けており、引き続き皆様と交流を密にしてまいります。今大会では、東北ブロックとして初めて「風会議」が開催され、当局からも参加させていただきます。

アフターコロナ、ウィズコロナの中、出会いや繋がりの重要性が再認識されています。「『#CHANCE』～むつつの魅力の彩北体験～」の下、青年部の皆様一堂に会して交流を深められ、これまで培ってこられたネットワークを更に強固なものとされることでしょう。

結びに、日本商工会議所青年部及び東北ブロック商工会議所青年部連合会をはじめ、各商工会議所青年部のますますの御発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。



ご 祝 辞

青森県知事

宮 下 宗一郎

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会が、むつ市をはじめ、下北地域において開催されますことをお喜び申し上げますとともに、東北各県からお越しくださいました皆様を、青森県民を代表して心から歓迎いたします。

日本商工会議所青年部の皆様におかれましては、地域の総合経済団体の次代を担う青年経済人として、日々研鑽を積み重ねながら、商工会議所活動の一翼を担い、地域経済社会の振興と発展に積極的に取り組まれていることに対し、心から敬意を表します。

近年、人口減少や少子高齢化に伴う労働力不足、消費の低迷、地域コミュニティ機能の低下など、様々な課題に加え、現下の国際情勢等を背景とした物価・燃料費高騰の影響により、地域経済を取り巻く環境は厳しさを増しています。人口減少社会を乗り越え、持続的成長を続けていくためには、深刻化・複雑化する社会経済環境の変化に的確に対応し、生業の維持・回復を図ることが重要となります。

こうした中、「『#CHANCE』～むっつの魅力の彩北体験～」を大会テーマに、東北各地で御活躍されている皆様が一堂に会し、持続可能な地域社会の実現に向けて研鑽や交流を深められることは誠に意義深く、本大会の成果が、皆様のそれぞれの地域での活動の更なる充実と、東北各地域の経済活性化につながっていくものと期待しています。

私が目指す「青森新時代」は、若い人たちがあふれて、若い人たちが戻ってくる青森県です。その実現のために、青森県では、より

魅力のある仕事づくりと所得の向上に実行力・発信力・スピード感をもって全力で取り組むとともに、企業誘致の実施や創業支援の展開などにより、新しい仕事を創り出していくこととしています。

社会経済活動の正常化の進展により、コロナ禍からの需要回復や地域活性化が期待される中、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割は、ますます重要となっています。企業と地域社会の次代を担う皆様には、青年経済人として、産業・経済の活性化に積極果敢に取り組んでいただきたいと思えます。

さて、青森県は、十和田湖・奥入瀬渓流や、今年、世界自然遺産登録30周年を迎える「白神山地」に代表される美しく雄大な自然、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された三内丸山遺跡をはじめ、数々の名所・旧跡が織りなす悠久の歴史・文化、新鮮で郷土色豊かな多彩な食などの魅力に溢れています。さらに、ここ下北地域は、本州最北端の日本ジオパーク「下北ジオパーク」として認定されており、「恐山」や「仏ヶ浦」などの景勝地のほか、大地と海、それらに生まれ守り継がれてきた生態系と人々の営みが見どころとなっています。皆様には、是非この機会に、下北地域をはじめ青森県民の温かい人情に触れながら、本県の魅力を存分に御堪能いただきたいと思えます。

結びに、日本商工会議所青年部のますますの御発展とともに、本日御参会の皆様への御健勝と御活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



ご 祝 辞

むつ市長

山 本 知 也

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大の開催を心よりお慶び申し上げますとともに、全国各地からお集りの皆様を心から歓迎いたします。

また、日本商工会議所青年部の皆様におかれましては、平素より地域振興と経済の活性化に御貢献いただいていることに深く敬意を表しますとともに、青森県下北地域で初となります東北ブロック大会の開催に当たり多大なる御尽力、御支援を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。次代の地域経済を担う若い力にあふれた皆様が、このように一堂に会して交流し、地域を越えた連携の輪が広がることは、豊かな地域社会の実現のために誠に意義が深いものと感じます。

さて、ここむつ市は、昭和35年に全国初のひらがなの市としてスタートし、本州最北端、青森県の北東部、下北半島の中央部に位置しております。また、下北半島は古代からの海洋プレート運動・火山活動・海水面の変動といった日本列島が誕生した全ての痕跡が観察でき、特徴的な形状からまさか半島とも呼ばれ、仏ヶ浦・恐山・大間崎・尻屋崎といった独特で壮大な景観が楽しめるほか、周りを太平洋・津軽海峡・陸奥湾という特徴の異なる3つの海に囲まれ、マグロやホタテなどに代表される絶品の海の幸が豊富であり、さらには海運で築かれた独自の歴史や文化が残され、平成28年には地域の皆様の熱い活動も相まって下北ジオパークとして認定されまし

た。来年は日本ジオパーク全国大会の開催が決定し、地域の皆様の盛り上がりが最高潮に達しています。ぜひ、下北ジオパークを体感し、真っ盛りな半島の魅力を存分に味わっていただきたいと存じます。

「転禍為福」。新型コロナウイルス感染症という大きな禍は、全世界に深い傷跡を残しました。この東北地方においても、感染拡大により、私たちは当たり前の日常から大きく「分断」され、地域経済も疲弊しました。一方で、禍を乗り越えるべく、デジタル技術の活用等は加速度的に進展しており、リモートワークやワーケーション等、地方にとって追い風となる新たなビジネススタイルも生まれております。今こそまさに、本大会のテーマ、「#CHANCE」であります。当市では、豊かな自然によって育まれた多様な地域資源を活かしつつ、デジタル技術を導入した新たな施策を推進し、当市の将来像であります「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

日本商工会議所青年部の皆様にとりまして、アフターコロナの新時代に向けた挑戦の一步を踏み出す「CHANCE」となり、皆様の情熱と研鑽により、東北の、そして日本の未来が明るく輝くことを御期待申し上げます。

結びに、本大会の御盛会、日本商工会議所青年部の益々の御発展並びに御参加いただきました皆様の御活躍と御健勝を祈念申し上げます、お祝いの挨拶といたします。



ご 祝 辞

海上自衛隊 大湊地方総監
海 将

泉 博 之

『日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会』のむつ市での開催を心からお祝い申し上げます。

日本商工会議所会頭小林様はじめ各商工会議所青年部の皆様方に於かれましては、日頃から互いの連携を助け、企業の発展と豊かな地域社会の形成に尽力されているところであり、その献身的な取り組みに深甚なる敬意を表します。

日本商工会議所青年部は「Challenge Everything」～持続可能な心豊かな未来への貢献～というスローガンの下、新型コロナウイルスによる多大な経済面における影響を乗り越え、明るい未来に向けて難局に立ち向かいながら、若き経済人として日々研鑽に励まれていることと思います。

さて、我々海上自衛隊大湊地方隊と同じむつ市で活動されているむつ商工会議所青年部の皆様が主管して開催されます今回の『東北ブロック大会 青森むつ下北大会』のテーマは「歴史、産業、食、海、山、笑顔」からなる「むっつの魅力」と伺っています。むつ市は古くから港町として栄え、津軽海峡はこの地に上方文化を伝えた北前船の航路でもありました。その津軽海峡を含む北方警備のため明治時代に海軍がこの地に基地を置いてから121年、海上自衛隊となってから70年、大湊地方隊は地域と協力し合い共に発展してきました。

た。現在では、各種イベントや下北ジオパーク、海自カレー、海軍コロケ、海軍時代からある釜臥山スキー場などを通じての地域との関わりを持ち、まさにこれらテーマとの深い縁を感じます。

海上自衛隊は、防衛交流や国際貢献を通じ望ましい安全保障環境の創出に努めています。特に不透明な国際情勢の下では、地域の特性や相手国の事情を考慮しつつ価値観を共有し安全保障協力を推進することでグローバルな課題に取り組んでいます。そういった活動を円滑に行うためには、昨年末に策定された防衛3文書に記載されているように、基地周辺の地元の理解と協力の獲得が欠かせません。一方でその前提となるのは地域の安定した発展であることは言うまでもありません。「より良くを目指し、先導者たる責任を自覚し、地域の経済的発展に寄与する」という商工会議所青年部の原点ともいえる理念を形にしていくことは、その地域の発展にとってますます重みを増すことでしょう。各地域における商工会議所青年部による献身的な活動が地域の発展と安定に繋がることを期待してやみません。

結びに、日本商工会議所並びに会員の皆様、そして各商工会議所青年部の皆様方の益々のご発展と、より一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶と致します。



ご 祝 辞

東北六県商工会議所連合会
会 長

藤 崎 三郎助

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会「青森むつ下北大会」が、ご当地むつ市において盛大に開催されますこと、誠にめでたく心よりお祝い申し上げます。

また、本大会の開催にあたりご尽力されましたむつの皆様に深く敬意を表します。

東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様におかれましては、東北六県下45の青年部と連携を図り、商工会議所活動の一翼を担う重要な組織として、地域貢献事業などを展開されながら、東北各地の経済発展に大きく貢献されておりますことは誠にご同慶に堪えません。

さて、昨今の国内経済をみますと、約3年間にわたり社会経済活動を停滞させてきた新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたものの、不安定な世界情勢を背景とするエネルギー・原材料価格の高騰、急激な為替変動など、企業は依然として厳しい経営環境に置かれています。

加えて、東北におきましては若者や女性の首都圏流出の顕著化など、全国に先駆けた人口減少・高齢化の進行という構造的な地域課題に直面しております。

このような中、AI、IoTなどのデジタル技術活用による新たな産業の創造や地域の活性

化を促すイノベーションなど、強靱かつ多様性を備えた持続的な地域社会の構築に向けた取り組みが不可欠であります。

そのような地域社会の実現には、青年経済人ならではの創造力や柔軟性、また東北六県下45商工会議所青年部をはじめとする関係団体との有機的なネットワーク構築が大きな役割を果たすとともに、そのような契機ともなる東北ブロック大会の開催には非常に大きな意義があるものと存じます。

今まさに時代の潮目ともいべき社会経済の環境のもと、若く熱意のある青年部の皆様の力強い経済活動や地域貢献活動が各地の未来を大きく左右すると言っても過言ではありません。

今後とも皆様におかれましては、青年経済人として新たなアイデアやバイタリティ溢れる活動に加え、青年部活動を通じて地域を超えた連携や切磋琢磨に取り組みながら、次代の先導者として地域経済を牽引していくことを期待申し上げます。

最後に、本会が実り多いものとなりますよう心からご祈念いたしますとともに、東北ブロック商工会議所青年部連合会の今後益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



ご挨拶

青森県商工会議所連合会
会長

倉橋 純造

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会が「#CHANGE」～むっつの魅力の彩北体験～を大会テーマに盛大に開催されますことは、開催県としてこの上ない喜びであり、心から歓迎いたします。

東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様には、各地の商工会議所活動にたずさわりながら、青年経済人としての視点から地域貢献事業や交流連携事業など積極的な活動を通じ、地域経済の発展に大きく貢献されていることに、心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、ようやく、観光客の増加が目に見えるようになり、経済活動全般にわたり、コロナ前に近い状況となってまいりました。まずは、コロナ禍で大きな打撃を受けた観光、飲食、サービス関連事業者の早期回復に向け、インバウンド観光客の増加を図ることが急務であり、本県としては大型クルーズ船の寄港や韓国・台湾定期便の再開による外国人観光客の誘客拡大を図ってまいりたいと思っております。

また、人口減少と高齢者人口の増加が進む中であっても、豊かで魅力ある地域であるた

め、先人が残した青森の宝である陸、海、空の交通機能や縄文の世界遺産、豊かな自然の利活用を進め「人・物・金」が集まる拠点となるよう、本県の強みである「水・食料・エネルギー」を経済活動に結び付ける展開を進めて参りたいと考えております。

私どもが住む東北にあって、より一層連携を強化させ、オール東北で「新たな価値」を生み出し、国内外に東北地域の新たな取り組みや魅力を発信し続けることが、重要なことであると思っております。

次代の地域経済社会の担い手であります東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様方には、青年経済人としての資質向上と相互交流を通じて、自らの企業はもとより、地域経済の発展と豊かな地域社会の構築に努め、商工会議所活動の一翼を担う事業活動に大きく期待をしております。

本大会開催にあたり、大会開催にご尽力・ご支援をいただきました関係各位に対し、心からの感謝とお礼を申し上げ、東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様の今後ますますのご活躍を期待しまして、私からのご挨拶といたします。



ご挨拶

むつ市商工会議所
会 頭

内 田 大 輔

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会の開催にあたり、開催地商工会議所を代表して、ご挨拶を申し上げます。

このたび、全国各地から次代を担う青年経済人である皆様が、ここむつ市にお越しいただき心から歓迎申し上げます。また、青年部の皆様におかれましては、日頃より商工会議所の活動にご理解・ご協力いただいておりますことを感謝申し上げます。

さて、昨今の地域経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済的疲弊が回復しきらない中、止まらない物価高騰の影響によって、依然として厳しい状況が続いております。例に違わずむつ市内も同様の状況であると言え、地域経済が今後成り立っていくためには、一刻も早く、あらゆる手段による経済的疲弊の回復が必要であると感じております。

このような状況下の中、コロナ禍で失われたにぎわいを取り戻すことを目的に、むつ市内において「にぎわい再生イベント実行委員会」という団体を、昨年度立ち上げました。当委員会は、むつ観光協会様、下北物産協会様、むつ市、むつ商工会議所がそれぞれ手を取り合うことによって、成り立った委員会でございます。昨年度は、委員会が主催する催事をむつ下北地域内で多数実施し、地域のにぎわいを再生するために奔走いたしました。共通の目的を達成するために、組織や団体の枠を超えて連携することによって、成すことができる物事の大きさを改めて実感した一年となりました。今後も「組織・団体」の枠を

超え、手を取り合い、地域経済活性化のために邁進していく所存でございます。

次代を担う青年経済人の皆様が、本大会のためにむつ市にお集まりいただきましたことは、まさに「組織・団体」の枠にとらわれずに手を取り合うことによって、実現できた光景であると感じております。経済状況のみならず、数年先すらも予測がつかない現代社会の中、人々が前進していくためには、このような光景が希望となり、地域経済人にとっての大きな目標になると思っております。本大会実現のための青年部の皆様の姿勢は、目まぐるしく移り変わる昨今の情勢の中でも、不変であり続けていただくことを切に願っております。

また、むつ市が属する下北半島は、数多くの観光資源を有しております。三方海に囲まれた地形が恵む海鮮はもちろんのこと、日中は恐山をはじめとする自然が織りなす独特な景色や雰囲気なども楽しめます。夜の見どころとしては、アゲハ蝶を形容した夜景があげられます。大湊湾と下北半島から成る「夜のアゲハ蝶」は、東北地方随一の夜景であると称されています。魅力が多くあるむつ市で心ゆくまでどうぞお過ごしください。

結びに、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力賜りました関係各位に衷心より感謝申し上げますとともに、青森県商工会議所青年部連合会の皆様、東北ブロック商工会議所青年部連合会の皆様、そして全国の商工会議所青年部の皆様のますますのご発展を祈念申し上げます。歓迎の挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

青森県商工会議所青年部連合会
会長

川村 祐樹

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会「青森むつ下北大会」の開催にあたり、東北各地を始め全国各地からも多数の青年部会員やOB・OGの方々にこの青森の地にお集まりいただいたことに感謝申し上げます。また、御来賓の方々にはご多用の中ご臨席を賜りましたことに青森県商工会議所青年部連合会を代表して心より御礼申し上げます。

2年半以上に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大がようやく落ち着きを見せたと思いきや、多岐に渡る様々な物品の大幅な価格高騰。私たちの生活はもとより多くの企業、事業所に多大な悪影響を及ぼし暗い影を落とす、非常に厳しい昨今の情勢となっております。

では、我々商工会議所青年部はどうでしょうか？多分にもれず厳しい状況の会員企業、事業所が多いかと思われませんが、青年部活動として各種大会やイベント等がフルスペック開催となり非常に大きな盛り上がりを見せていると思います。しっかりと学び、懇親会も行い研鑽と交流の両輪が合致することが、多

くのメンバーに刺激と活力を与えるということを再認識できました。

今大会テーマ「#CHANCE」～むっつの魅力の彩北体験～の下、開催地むつYEGを中心に青森県連一丸となって皆様をおもてなし致します。青森の食・文化・歴史・風土・人情を思い切り堪能してくださいませ。

最後になりますが、本大会開催にあたりご支援・ご協力を賜りました関係する全ての方々、そして本日ご参加くださいました皆様にご心より御礼申し上げますとともに、今後のご活躍、ご発展を祈念いたしまして、歓迎と御礼のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

むつ商工会議所青年部
会長

横田 俊行

この度は、日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会の開催にあたり、多数のご来賓の皆様にご臨席賜り厚く御礼を申し上げます。加えて、関係各所より多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに対し、心より感謝申し上げます。

また、山本東北ブロック代表理事をはじめとする東北ブロック45単会の皆様、そして全国からお集まりいただきましたYEGメンバーの皆様、OB・OGの皆様をお迎えし、ここむつ市で東北ブロック大会を開催できたことは、この上ない喜びであり、むつYEGを代表いたしましてご歓迎いたしますとともに、深く感謝いたします。

本大会の主管地でありますむつ市は、本州最北端の市であります。むつ市が位置する下北半島は、西に向かって大きな三角形の半島が突き出し、陸奥湾の東側を抱き込むような地形をしております。この非常に特徴的な地形を形容して、「まさかり半島」と呼ばれ、親しまれている地でもあります。また、半島全体が国定公園として指定されておりますように、多くの魅力に包まれている地域であります。

特に、日本三大霊場の一つであります恐山は、むつ下北地域のイメージとしてあげる方が多いのではないのでしょうか。本大会の中でも、幻想的な景観を持つ恐山を楽しめる機会をご用意しております。

むつ下北地域が持つ魅力は他にも多数あり、その魅力を皆様に残すところなく堪能し

ていただきたいという思いで、「#CHANCE～むつつの魅力の彩北体験～」というテーマを掲げ、大会開催に向けて取り組んで参りました。

本大会にご参加いただきました皆様におかれましては、お時間が許す限りむつ下北を満喫していただければ幸いに存じます。

加えて、皆様のご協力によって実現いたしました本大会の開催を、今後のむつYEGの力に変え、更なる前進をしていく所存でございます。今年度で設立から25周年を迎えたむつYEGは、これまでの25年、そしてこれからの25年と歴史を紡いでいくうえでの節目として、「原点回帰」をテーマに活動しております。

テーマに沿った日頃の活動は、むつYEGのみならず、むつ下北地域そのものの持続可能性に寄与していくものであると自覚しております。大会開催後は、むつYEGの日頃の活動をより充実化させるだけでなく、活動そのものが地域の支えとなっていくことを目指し、むつ下北地域の持続可能なまちづくりと、YEG全体の活動活性化に向けて更に尽力することに努めて参ります。

結びに、本大会開催にあたり、地元企業及び地域の皆様、青森県連YEGの皆様、商工会議所青年部OB・OGの皆様、関係諸団体の皆様から、多大なるご支援・ご協力賜りましたことに対し心より厚く御礼申し上げ、開催地YEGを代表して歓迎の挨拶といたします。



ご 祝 辞

会津若松商工会議所青年部
会 長

阿 部 雄 一 郎

第42回商工会議所青年部東北ブロック大会がむつ市において開催されますことに対し、心から御祝いを申し上げます。

むつ市と会津若松市の関係は、戊辰戦争終戦後より歴史的絆で深く結ばれ、昭和59年にむつ市市制25周年を迎えた際、当市では鶴ヶ城の築城600年を記念し、同年9月に両市が姉妹都市の締結を宣言しました。その後、平成28年には青年部同士が「姉妹YEG連携」を締結し、平成30年には、商工会議所本体が、「ゆかりの地CCI観光ネットワーク」を立ち上げ、お互いに歴史的縁を胸に、息の長い付き合いをさせていただいております。

さて、経済情勢に目を向けますと、この3年間で社会情勢や生活環境は大きく変容し、地域経済状況も非常に厳しい状況となっておりますが、コロナ禍もようやく5類へと分類され、経済再生へ向けた準備が整いつつあります。

そうした中で開催となりました本大会ですが、テーマでもある「#CHANCE」～むっつの魅力の彩北体験～の言葉が示すように、青年経済人の我々が顔と顔を合わせて集うこの機会は、地域活性化へ向けた新しいアイデアや、東北の新たな魅力が生まれる場であり、

また、東北を一つにし、今後の豊かな日本経済へつながるチャンスであります。失われた地域の活力を取り戻すのは簡単ではありませんが、このチャンスを逃すことなく、コロナ禍で学んだ生活とそれ以前の生活の良い部分を融合し、一丸となって地域活性化に取り組んでいくことが我々の使命であります。

当YEGでは「地域づくりは仲間づくり」のスローガンのもと、ここ数年難しくなっていた「ヒト」のつながり、人的資源に重点を置き、「ヒト」が夢や希望を持ち、楽しんで生活できる地域の創生を目標に、まずは、青年部メンバーが「青年部活動は“楽しい”“面白い”」と思えるような事業・環境づくりを推進しております。青年部の名のもとに一丸となって、関係機関とも連携を図りながら、全員野球で地域活性化に寄与して参りますので、皆様方の引き続きのご協力をお願い申し上げます。

結びに、本東北ブロック大会を主管されたむつ商工会議所青年部並びに青森県商工会議所青年部連合会の皆様のご尽力に対し敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会が実り多いものとなりますことを心から御祈念いたしまして、御祝いのご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会
大会会長

太田 憲 仁

令和5年度日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会の開催にあたり、多数のご来賓の皆様ならびに関係諸団体の皆様にご臨席賜りましたこと、また多大なるご協力・ご支援いただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

本年度、東北ブロック大会 青森むつ下北大会を主管します、むつYEGが活動する青森県むつ市は、本州最北の地に位置しており、海と山に囲まれたとても自然豊かな地です。むつ市民の協力のもとむつ市が位置する下北半島は下北ジオパークにも認定されております。

むつ市には空港もなければ、新幹線の駅もない。ましてや高速道路のICすらない交通の便がとても悪い地域です。このような地域で活動する私たち、むつYEGが設立25周年の年に東北ブロック大会を開催できるCHANCEをいただき青森県連をはじめとする、東北各県連の皆様にご感謝申し上げます。

交通の便が悪くても、むつYEGここにありという思いで、キャラバンを回らせていただき、訪問させていただいた各YEGの皆様にご温かく迎えていただいたことに、感謝の思いと開催へのモチベーションをいただきました。大会への参加登録をさせていただいた皆様には、ぜひ、むつの地へ来ていただき、多くの学びとむつ市の食を楽しんでいただけるように精一杯おもてなし致します。

私たちはむつYEGがいただいたCHANCEを東北45単会、そして、日本YEGのCHANCEに変えて持ち帰ってもらえるように、「#CHANCE～むつ市の魅力の彩北体験～」を大会テーマとして掲げました。

大会においては青森県連の皆様のご協力も得ながら、東北各地に留まらず、全国からむつの地へ来ていただいた皆様にご喜んでいただけますので、この東北ブロック大会という機会が皆様にとってむつを知り、魅力を堪能できるCHANCEになることをご祈念いたします。

結びになりますが、本大会実施にあたりましてご尽力いただきました東北ブロック商工会議所連合会、日本商工会議所青年部、青森県商工会議所青年部連合会、むつ商工会議所青年部OBの皆様にご改めて感謝申し上げますと共に、本大会へご登録いただきました皆様、そして全国各地からむつの地へ足を運んでいただいた皆様へ歓迎と感謝の意を表して、ご挨拶とさせていただきます。

結びになりますが、本大会実施にあたりましてご尽力いただきました東北ブロック商工会議所連合会、日本商工会議所青年部、青森県商工会議所青年部連合会、むつ商工会議所青年部OBの皆様にご改めて感謝申し上げますと共に、本大会へご登録いただきました皆様、そして全国各地からむつの地へ足を運んでいただいた皆様へ歓迎と感謝の意を表して、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会
実行委員長

佐藤 俊介

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会の開催に際し、ご臨席いただきましたご来賓の方々、多大なるご支援・ご協力を賜りました地元企業の皆様及び関係諸団体の皆様に厚く御礼申し上げます。また、東北ブロック45単会をはじめとする全国各地からお集まりいただきましたYEGメンバーの皆様、OBの皆様に、実行委員会一同より感謝と歓迎を申し上げます。

「#CHANCE～むつつの魅力の彩北体験～」を開催地テーマとして掲げ、太田大会会長を中心とし、むつYEGメンバー一同大会開催の準備をして参りました。本州最北端の市であるむつ市で本大会を開催し、なおかつ皆様を存分におもてなしすることを最優先事項として思案し、熟慮し、そして議論を続けてきました。

記念講演では、持続可能性をメインテーマといたしまして、有限会社リングミュージック代表取締役の樋川新一様より、講演していただきます。むつYEGのみならず、今後も持続、そして前進していく組織を目指すうえでの考え方をご提供できる、貴重な機会になるかと思えます。

むつ市には多くの魅力があり、持続・発展させてきました。その中でも食物の魅力、味覚は全国的に誇れるものと考えております。本大会中にあたりましては、物産展、大懇親会にてむつ市の味覚を楽しめる場をご

用意させていただきました。加えて、大懇親会では青森県連の皆様方からご協力もいただき、むつ市のみならず、青森県全土の味覚を楽しめる場となっております。

味覚だけでなく、視覚でもお楽しみいただけるのが、このむつ市の魅力でもあります。第一分科会ではむつ市を代表する観光地、恐山へご招待いたします。まさに全身でむつ市を体感できるツアーとなっております。第二分科会、第三分科会、第四分科会ではそれぞれむつ市の歴史を直接見て、体験できる分科会となっております。昔ながらのソウルフードであるべこもち作り体験、旧会津藩士ゆかりの地である斗南藩巡り、現在のむつ市の象徴でもあります大湊総監部見学と、現代のむつ市の歴史を余すことなく盛り込みました。

本大会がこのように充実した内容となりましたことは、地元企業、青森県商工会議所青年部連合会、商工会議所青年部OB、そして関係諸団体の皆様のご支援・ご協力の賜物であります。改めて感謝申し上げます。最後に、本大会開催にあたりましてご尽力いただきましたむつYEG実行委員会メンバー及び青森県連のYEG並びにサポートチームの皆様に感謝申し上げますと共に、ご参集いただきました皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、御礼と歓迎のご挨拶とさせていただきます。

大会プログラム

10月6日(金) 東北ブロック諸会議・秋の会長会議・前泊者懇親会

時 間	内 容	場 所
9:10~10:40	未来への政策提言委員会	むつグランドホテル
	未来への伝承と挑戦委員会	
	各種大会連携室	
10:50~12:30	東北ブロック商工会議所青年部連合会役員会	
12:45~13:25	東北ブロック商工会議所青年部連合会臨時総会	
13:40~17:30	秋の会長会議	
18:00~20:00	前泊者懇親会	

10月7日(土) 記念式典・記念講演・大懇親会・分科会・OBサロン

時 間	内 容	場 所
9:30~14:30	第一分科会	恐山
9:00~14:00	第二分科会	むつ市中央公民館等
	第三分科会	斗南藩史跡地等
9:00~14:30	第四分科会	海上自衛隊大湊地方総監部
10:00~13:00	第五分科会	むつ来さまい館
10:00~11:30	記念講演	下北文化会館
10:00~16:00	物産展	みなみや駐車場(下北文化会館向かい)
12:30~14:30	OBサロン	むつグランドホテル
15:00~17:00	記念式典	下北文化会館
18:00~20:30	大懇親会	むつマエダアリーナ

10月8日(日) 東北ブロック諸会議・秋の会長会議・分科会・前泊者懇親会

時 間	内 容	場 所
8:30~15:30	エクスカージョン (ゴルフ)	東奥カントリークラブ

記念式典次第

令和5年10月7日(土) 15:00~17:00
下北文化会館

1. 開会宣言 青森むつ下北大会 実行委員長 佐藤 俊介
2. 国家「君が代」斉唱
3. 商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱
4. 商工会議所青年部「綱領」朗読・「指針」唱和
5. 主催者挨拶
東北ブロック商工会議所青年部連合会会長 山本 郷
日本商工会議所青年部会長 木村 麻子
日本商工会議所会頭 小林 健
6. 主管地青年部代表挨拶 むつ商工会議所青年部 会長 横田 俊行
7. 開催地商工会議所会頭挨拶 むつ商工会議所 会頭 内田 大輔
8. 来賓挨拶
東北経済産業局長 戸邊 千広 様
青森県知事 宮下宗一郎 様
むつ市長 山本 知也 様
9. 来賓紹介
10. 祝電披露
11. 主催者紹介
12. 参加商工会議所青年部紹介
13. 令和6年度東北ブロック商工会議所青年部連合会会長発表
14. 令和6年度開催地および主管商工会議所青年部発表
15. ブロック旗伝達式
16. 第43回東北ブロック大会開催地PR
17. 全国会長研修会のPR
18. 全国大会のPR
19. 閉会宣言 青森むつ下北大会 副実行委員長 相内 友博

記念講演

【日 時】 10月7日 (土) 10:00~11:30

【場 所】 下北文化会館 大ホール

【講 師】 とい かわ しん いち
樋 川 新 一 氏

有限会社 リンゴミュージック 代表取締役
株式会社 樋川自動車 代表取締役
有限会社 樋川車両 代表取締役

【講演タイトル】 **SDGsと経営の在り方**



座右の銘 思えば叶う
趣味 息子とキャッチボール

【講師プロフィール】

とい かわ しん いち
樋 川 新 一

- ・1970年弘前市生まれ
- ・弘前高校—法政大学経営学部卒業後、日産自動車(株)国内営業本部へ入社し、国内ディーラー各社の財務分析を担当。
- ・Uターン後、実家の自動車会社を継ぐが、地元弘前の元気のなさに一念発起し、有志と共に地方活性化を目的とした全国でも類のない、月謝無料の芸能スクール「弘前アクターズスクールプロジェクト」を設立。地方アイドルの先駆けとなる『りんご娘』をプロデュース。
- ・2006年より姉妹ユニット「アルプスおとめ」、2015年からは「ライスボール」をプロデュース。りんご娘の代表曲「トレイン」「だびょん」、アルプスおとめ「ニジイロリンゴ」、ライスボール「掌」「命」などの作詞・作曲を担当。
- ・2010年、SBI大学院大学にてMBAを取得。

第1分科会



場所：むつ市役所集合
むつ市恐山

定員：30名

【日時】

10/7(土)

9:30~14:30

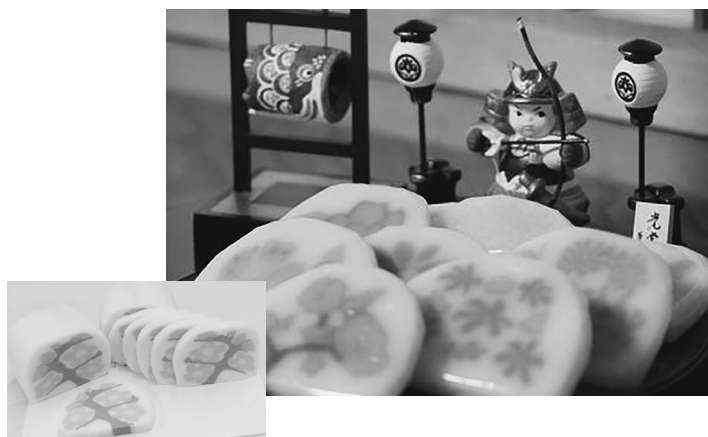
歴史・山 見学

日本三大霊山と称される恐山を体感しよう

比叡山、高野山と並ぶ霊山恐山。硫黄の匂いや独特な風景のため現世とは思えない不思議な場所があります。天国とも地獄とも言われる光景を皆様の身を以て体感してみませんか？

*恐山内は足場が悪い箇所もあるため、強制ではありませんが、ウォーキングシューズ等を使用されることを推奨致します。なお分科会後の式典には革靴の着用をお願いします。

第2分科会



場所：下北文化会館集合
むつ市中央公民館

定員：20名

【日時】

10/7(土)

9:00~14:00

歴史・食 体験事業

むつ下北のソウルフードの1つ、【べこもち】を作って、むつ下北の魅力を体感しよう

「べこもち」は青森県下北地方で古くから食べられているお餅の伝統菓子で、お祝い料理としてもふるまわれたり、ソウルフードとしても愛されています。

大会テーマの「#CHANCE むっつの魅力の彩北体験」の「#」は地域の魅力発信の意味もありますが、交流と研鑽をしている様子、伝統の継承と新しい創造が交わっている様子、絆を表しております。地元では子どもの頃から慣れ親しまれている「べこもち」作りを通して、大会テーマに込められた大きな幸運と独自の文化を育んだ食の歴史、第42回東北ブロック青森むつ下北大大会の歓喜と笑顔のお祝いを、舌と心と記憶で体感しましょう！



第3分科会

【日時】
10/7 (土)
 9:00~14:00



場所：下北文化会館集合
 むつ市・東通村

定員：30名

歴史・海 見学

会津斗南藩にゆかりのある地を巡ろう



戊辰戦争に敗北した事により朝敵の汚名を着せられ、現在の北東北・青森県地方に移り住む事になった旧会津藩士の功績が残る場所を巡り、当時を偲びつつ、どのような歴史があるのかを学ぶ#CHANCEを掴み取ろう！

第4分科会

【日時】
10/7 (土)
 9:00~14:30



場所：海上自衛隊
 大湊地方総監部

定員：40名

歴史・産業 見学

日本五大総監部の大湊の施設を廻ろう！



日本五大総監部の海上自衛隊大湊地方総監部の施設を見学できるツアー。今年大湊地方隊創設70周年を迎える大湊地方総監部の艦艇・施設見学・歴史を学び。なかなか入る事の出来ない地方総監部見学を楽しんでください。

第5分科会

【日時】

10/7(土)

10:00~13:00

この事業を通して新しい分野に挑戦してみませんか？
自企業・地域のビジネスや自単会の事業のヒントが見つかるはずですよ！

場所：むつ来さまい館
イベントホールB

定員：30名

【web3って?】

仮想通貨、DAO、メタバース
近年はこうしたバズワードが乱立していますが
これらは全てweb3(WEB3.0)に包摂される概念です

新時代のビジネスチャンスのヒントが詰まっている
web3を基礎から学ぶことができるチャンスです！

- web3、メタバース、仮想通貨に興味がある方
- 新しいビジネスチャンスを掴みたい方
- デジタル社会に取り残されることのない新しい地域創生のヒントが欲しい方

ぜひご参加ください！

ビジネス

ビジ活クエストweb3

～集いし全国の仲間たち～

「web3」が生み出すビジネスの可能性を、まずは初歩的な知識を得られる講義・講習、街歩きクエストから学びます。座学だけでなく、より理解を深めるために「Cyber Trophy」というアプリケーションを利用しながら「街歩きクエスト」と称したフィールドワークを体験。この体験から感じ取れた多様な意見やアイデアを参加者全員で出し合い、新たなビジネスのかたちを創造・共有することで、YEG事業構築のヒントや自社のビジネス#CHANCEを掴み取ろう！

ビジ活クエストweb3

事業概要

<1部> 講義・講習
・web3の初歩的な知識と活用方法について
・アプリの利用説明

講師 山下 春平 やました いっぺい
九州ブロック 佐賀県選 島根 YEG
2014年 株式会社デジタルテック 創業
2015年 ドローン検定協会株式会社 創業
令和5年度 日本YEG特命理事(DX推進・政策提言)
内閣府 小規模企業に集まる地域創生に向けた官民協議会構成員
日本商工会議所 デジタル化推進専門委員会 委員

<2部> 街歩きクエスト
各地の歴史的建造物や観光スポット等を
徒歩で巡りミッション(NFT取得)を達成!

<3部> ディスカッション
・街歩きクエストで得られた感想の共有
・自社や地域でのweb3活用方法に
ついての意見共有

OBサロン

日本商工会議所青年部
YEG 第42回東北ブロック大会

青森むつ下北大会 OBサロン

大間マグロなどの下北の幸や青森の地酒
郷土芸能で下北を堪能していただきます♪

令和5年10月7日(土) 12:00~14:30
むつグランドホテル 会費:10,000円
むつ市田名部下道4 TEL.0175-22-2331 (お土産付)

昼食、休憩および物産展

場所：下北文化会館 向かい駐車場

【日時】

10/7(土)

10:00~16:00

ここにはむつ市の魅力(味力)
が詰まっています。

YEGメンバーのお店はもちろん、

地域で活躍中のお店が多数ございます。

昼食はもちろん、ちょっとした休憩にもご使用
ください。

むつ下北の食と物産でYEGメンバーとの交流
も深めていただければと思います。

大懇親会

場所：むつマエダアリーナ
メインアリーナ

【日時】

10/7(土)

18:00~20:30

県内各地からの魅力ある食の
おもてなし、下北の魅力が
まった食でのおもてなしがあります！またミニ
ライブも準備しております。まさに『むっつの
魅力の彩北体験』の集大成！
みんなで楽しい時間を過ごしましょう！！

エクスカーション

場所：東奥カントリークラブ
定員：60名

【日時】

10/8(日)

8:30~15:30

東北ブロック
YEG親睦
ゴルフコンペ



YEG 日本商工会議所青年部
第42回 東北ブロック大会 青森むつ下北大大会
記念式典 来賓ご芳名

経済産業省 東北経済産業局局長	戸 邊 千 広 様
青森県知事	宮 下 宗一郎 様
むつ市長	山 本 知 也 様
海上自衛隊大湊地方総監部総監	泉 博 之 様
衆議院議員	津 島 淳 様
衆議院議員	木 村 次 郎 様
参議院議員	滝 沢 求 様
参議院議員	田名部 匡 代 様
青森県議会議員	吉 田 ゆかり 様
青森県議会議員	井 本 貴 之 様
青森県議会議員	斉 藤 孝 昭 様
青森県商工会青年部連合会会長	森 隆 幸 様
全国商工会青年部会長	夏 堀 将太郎 様
黒石商工会議所会頭	新 岡 常 雄 様
むつ商工会議所会頭	内 田 大 輔 様
むつ商工会議所副会頭	山 内 将 邦 様
むつ商工会議所副会頭	関 勇 蔵 様
むつ商工会議所副会頭	吉 田 成 人 様
むつ商工会議所専務理事	佐 藤 節 雄 様
むつ商工会議所女性会会長	高 橋 千鶴子 様
むつ商工会議所青年部OB会会長	向 井 仁 様

日本商工会議所青年部

令和5年度 役員

役職	氏名	所属単会名	所属県連名
会長	木村 麻子	高 松	香 川
直前会長	西村 昭宏	鯖 江	福 井
筆頭副会長	吉川 裕太	秋 田	秋 田
副会長(東地区)	今枝 達哉	浜 松	静 岡
副会長(中地区)	寺田 昌史	豊 田	愛 知
副会長(西地区)	廣畑 賢一	中 津	大 分
専務理事	神林 拓馬	柏	千 葉
北海道ブロック代表理事	山本 秀也	小 樽	北海道
東北ブロック代表理事	山本 郷	一 関	岩 手
関東ブロック代表理事	杉澤 克久	三 島	静 岡
北陸信越ブロック代表理事	木村 広	射 水	富 山
東海ブロック代表理事	林 啓介	豊 橋	愛 知
近畿ブロック代表理事	本多 学	和 泉	大 阪
中国ブロック代表理事	滝本晋太郎	柳 井	山 口
四国ブロック代表理事	星場 俊之	阿 南	徳 島
九州ブロック代表理事	平田 将士	玉 名	熊 本
専務理事補佐	新宅 和彦	吹 田	大 阪
専務理事補佐	堰 大輔	松 江	鳥 根
担当理事	北村 彰浩	網 走	北海道
担当理事	菊池 孝一	五所川原	青 森
担当理事	岩根えり子	横 手	秋 田
担当理事	八木橋比佐樹	桐 生	群 馬
担当理事	篠田 佳宗	刈 谷	愛 知
担当理事	安藤 宜史	春日井	愛 知
担当理事	中山 紘行	倉 敷	岡 山
担当理事	田原 典郎	阿波池田	徳 島
特命理事	宮本 総子	下諏訪	長 野
特命理事	山下 壱平	鳥 栖	佐 賀
全国大会担当理事	小野知一郎	小 松	石 川
全国会長研修会担当理事	三谷 剛平	高 知	高 知
総務委員長	中川 誠	伊勢崎	群 馬
広報ブランディング委員長	森 麻理子	奈 良	奈 良
企画委員長	古谷 正樹	廿日市	広 島
研修委員長	安丸 真一	久留米	福 岡
ビジネス活性化委員長	松崎 礼子	岡 崎	愛 知
国際ビジネス委員長	青木 大海	高 松	香 川
組織活性化委員長	花岡 重徳	小田原箱根	神奈川
政策提言委員長	牟田 礎麗	小 林	宮 崎
SDGs・男女共同参画推進委員長	菅原 涉	気仙沼	宮 城
監事	高久 臣平	湯 沢	秋 田
監事	皆見 貞康	土 浦	茨 城
相談役	吉川 正明	沼 津	静 岡
代表理事	尾越 亮介	釧 路	北海道
代表理事	外崎 耕士	青 森	青 森

役職	氏名	所属単会名	所属県連名
代表理事	三國 卓郎	花 巻	岩 手
代表理事	澤田 朋子	古 川	宮 城
代表理事	岩野 豪	湯 沢	秋 田
代表理事	中村 恵利	天 童	山 形
代表理事	和知 健明	白 河	福 島
代表理事	杉山 朋宏	下 館	茨 城
代表理事	松本 篤哉	栃 木	栃 木
代表理事	堤 浩恵	沼 田	群 馬
代表理事	藤澤 裕文	熊 谷	埼 玉
代表理事	今井 裕敏	茂 原	千 葉
代表理事	日高 淳也	海老名	神奈川
代表理事	齋藤 安彦	掛 川	静 岡
代表理事	板垣 俊行	村 上	新 潟
代表理事	高岡 芳樹	黒 部	富 山
代表理事	里谷 光蔵	輪 島	石 川
代表理事	菅沼 郁男	長 野	長 野
代表理事	佐合 成優	美濃加茂	岐 阜
代表理事	岩崎 洋平	豊 田	愛 知
代表理事	橋本 耕成	松 阪	三 重
代表理事	竹野 耕平	敦 賀	福 井
代表理事	松下 和雅	彦 根	滋 賀
代表理事	梅本 達矢	宮 津	京 都
代表理事	慶元 勝	八 尾	大 阪
代表理事	岩崎 拓也	相 生	兵 庫
代表理事	犬伏 裕希	奈 良	奈 良
代表理事	伊藤 智寿	海 南	和歌山
代表理事	西川 朋宏	鳥 取	鳥 取
代表理事	高野 公愛	浜 田	鳥 根
代表理事	長崎 将雄	備 前	岡 山
代表理事	廣田 吉則	大 竹	広 島
代表理事	井上 剛治	宇 部	山 口
代表理事	平山 正芳	小松島	徳 島
代表理事	入江 亜姫	善通寺	香 川
代表理事	藤岡 一平	大 洲	愛 媛
代表理事	岡本 元	高 知	高 知
代表理事	中田 進	宮 若	福 岡
代表理事	家永 俊弘	鹿 島	佐 賀
代表理事	野中 哲也	大 村	長 崎
代表理事	梅野浩二郎	山 鹿	熊 本
代表理事	野田 峰一	中 津	大 分
代表理事	宮下 英泰	宮 崎	宮 崎
代表理事	赤崎 哲央	川 内	鹿 児 島
代表理事	長濱 健太	浦 添	沖 縄

日本商工会議所青年部

令和5年度 委員会

委員会名	氏名	所属単会	都道府県	
総務	中川 誠 宮和樹 呉尚人 杉崎真介 西澤真 神子島 山下晃平 太田憲仁 鈴木直樹 仙北成一 吉田陽介 鈴木海 谷田多呂 堀鼓秀修 畑江樹 横祖父志 祖久健司 安内大記 小嶋潔 清水拓志 占部直義 高森崇大 小川光伸 鈴木美紀 横山一 安西理子 山森都雅 片山也 砂田充 中西雄一 蓮水恒也 谷田善一 戸田一 中々木 佐々木 沼倉亮 島田貴 内山泰 飯塚啓 渡辺久夫 松葉真 藤田和 柴田志 近本晃 川本哲也 土田英 平宇牧 南洋介 片田裕 洋二 島誠祐 廣瀨論 佐野勝哉 福濱哲 古谷創 齋藤史 佐藤新一 小野利 園昇 嶋和義 日佐大 工藤健 木村治 中居利 高橋誠 彰	伊勢崎 秋田 小田原 北大 燕 豊む 一 大郡 浜松 小加 恵刈 武長 八吹 福山 阿善 高久 宮奈 吹敦 倉白 高宮 流能 湯太 さい 野茅 ケ 加 一 豊春 鈴草 岡津 広徳 阿善 鹿児 い甘 む秋 北山 鯖郡 高久 釧大 稚富 川	群馬 秋奈 神大 新愛 青岩 秋福 静静 石岐 愛福 滋滋 大広 山徳 香高 福宮 奈大 福岡 石高 京千 秋秋 群崎 千神 石岐 愛愛 愛三 福滋 岡徳 徳香 鹿児 鹿鹿 廣青 秋大 阪陽 江知 米路 館内 岡口	馬田川 阪阪 湯知 森手 田島 岡岡 川川 早知 井賀 賀阪 島口 島川 知岡 崎良 阪井 山川 知都 葉田 馬玉 葉川 川早 知知 知重 井賀 山山 島島 川島 島島 森田 阪口 井島 知岡 道田 道馬 玉
広報ブランディング				
企画				

委員会名	氏名	所属単会	都道府県			
研修	佐久間 増山 瀧口 林大 榎伊 鹿中 小浪 古田 宮菊 安今 古大 木下 平井 小黒 新吉 本山 江口 井山 山西 小瀬 船加 小中 柴榮 大竹 和瓜 前山 秋福 高青 柴寺 富富 島西 井岡 古古 大石 村小 望庄 鈴木 大田 松兵 高日	哲隆 史晃 介介 千雄 景智 孔孝 正達 基基 孝真 辰卓 千鶴 郎哉 太敏 宏敏 寿喬 圭大 宏弘 正和 大寛 敬智 佳美 幸一 京忠 祥多 雅仁 光治 大秀 隆普 紀勲 聖聖 祥哲 広卓 早武 昌大 拓人 勲貴 之子 之明 幸伸	五富 小惠 岡豊 八益 広福 善小 玉鹿 五所 久郡 北岡 佐小 豊高 仙伊 勢た さい 柏ケ 茅沼 長岡 豊一 稲津 松刈 守門 岡廣 朝佐 諫大 玉那 高土 珠安 井久 豊福 仙郡 水川 さい 富珠 半一 小京 八守 岡	泉山 松那 崎橋 市田 島山 寺城 名高 原米 山阪 山賀 松田 鍋台 崎ま た柏 ケ 崎津 野崎 橋宮 沢阪 谷真 山倉 保早 村名 霸松 浦洲 城原 米橋 山台 山戸 口ま たま 蕨 士洲 田宮 牧都 尾真 山	新富 石岐 愛愛 滋鳥 広広 香佐 熊鹿 鹿青 福福 福大 岡佐 石愛 宮宮 群群 崎千 神静 長愛 愛愛 愛三 三愛 大岡 岡福 長長 熊冲 香茨 石愛 岡福 愛広 宮福 茨崎 崎崎 崎静 石愛 愛愛 京大 大岡	湯山川 早知 知賀 根島 鳥川 賀本 鳥森 岡鳥 阪山 賀川 知崎 城馬 玉玉 葉川 岡野 知知 知知 知重 知重 知阪 山島 岡崎 崎本 縄川 城川 知山 岡知 島城 島城 玉玉 玉岡 川知 知都 阪阪 山
国際ビジネス						

日本商工会議所青年部

令和5年度 委員会

委員会名	氏名	所属単会	都道府県
ビジネス活性化	寺島大上	梨文エカ	山梨
	藤田若鷺	雅和	山梨
	伊野部	大志啓	山梨
	栗林	宏行	山梨
	松崎	礼子	山梨
	堀山	尚太	山梨
	丸山	和紗	山梨
	長谷川	政一	山梨
	星崎	知之	山梨
	三宮	龍次	山梨
	五島	太夫	山梨
	井上	佳則	山梨
	黒野	達陽	山梨
	森井	功介	山梨
	菅山	洋博	山梨
	熊木	克宜	山梨
	安藤	宜達	山梨
	高橋	洋樹	山梨
	田中	敏之	山梨
	三好	美里	山梨
組織活性化	濱林	山功	山梨
	永三	浦次	山梨
	廣瀬	敬史	山梨
	堤那	須名	山梨
	新藤	良重	山梨
	花岡	重徳	山梨
	山口	卓朗	山梨
	鈴木	大輔	山梨
	佐野	久紀	山梨
	後藤	将高	山梨
	林	晋子	山梨
	田山	綾裕	山梨
	秋川	亮佑	山梨
	清水	正充	山梨
	渡村	博俊	山梨
	上田	亮樹	山梨
	飯田	崇義	山梨
	宮野	宜孝	山梨
	水野	孝之	山梨
	伊藤	亮武	山梨
岡田	彦亮	山梨	
東	永雄	山梨	
森	雄介	山梨	
永	雄介	山梨	
梨生	俊也	山梨	
文雅	和也	山梨	
大上	大志啓	山梨	
藤田	宏行	山梨	
若鷺	礼子	山梨	
伊野部	尚太	山梨	
栗林	和紗	山梨	
松崎	政一	山梨	
堀山	知之	山梨	
丸山	龍次	山梨	
長谷川	太夫	山梨	
星崎	佳則	山梨	
三宮	達陽	山梨	
五島	功介	山梨	
井上	洋博	山梨	
黒野	克宜	山梨	
森井	宜達	山梨	
菅山	洋樹	山梨	
熊木	敏之	山梨	
安藤	美里	山梨	
高橋	山功	山梨	
田中	浦次	山梨	
三好	敬史	山梨	
濱林	須名	山梨	
永三	良重	山梨	
廣瀬	重徳	山梨	
堤那	卓朗	山梨	
新藤	大輔	山梨	
花岡	久紀	山梨	
山口	将高	山梨	
鈴木	晋子	山梨	
佐野	綾裕	山梨	
後藤	亮佑	山梨	
林	正充	山梨	
田山	博俊	山梨	
秋川	亮樹	山梨	
清水	崇義	山梨	
渡村	宜孝	山梨	
上田	孝之	山梨	
飯田	亮武	山梨	
宮野	彦亮	山梨	
水野	雄介	山梨	
伊藤	雄介	山梨	
岡田	雄介	山梨	
東	雄介	山梨	
森	雄介	山梨	
永	雄介	山梨	

委員会名	氏名	所属単会	都道府県	
政策提言	田藤川岡波平長山堀万牟浜角村仲神田越垣高坪沼海森高藤中伊高細中児池坂澁久西香大菅西牧高中松内下野岩沼赤佐藤赤伊藤片吉山平横緑野大向鈴木庄安泉鬼塚	附本岡波平長山堀万牟浜角村仲神田越垣高坪沼海森高藤中伊高細中児池坂澁久西香大菅西牧高中松内下野岩沼赤佐藤赤伊藤片吉山平横緑野大向鈴木庄安泉鬼塚	津智洋輔剛治城弘敏也麗崇幸史教帆郎太聡也樹輝男誠浩宗子尚明人久太彦太佳英美太郎学之樹宏博子希彦和幸宏一郎志智悠幸範子美明瞳生宏美文哉	大阪府
	大高岡倉岩高松高指那小豊北大久福札岩横郡桐川富小七刈岡豊四福武八守奈出広高大田延気新静福鳴久富須帯大仙伊藤藤射小輪松蒲豊安高大高倉広高朝	東砂山敷国松山知宿霸林田阪東米山幌沢手山生口土松尾谷崎橋市井生尾真良雲島松田川岡沼庄岡井門米土崎広渡台崎枝水松島本郡田城石東砂敷島松知倉	大阪府	
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
	阪庫山山口川媛知島縄崎知阪阪岡島道道田島馬玉岡川川知知重井井阪阪良根島川岡崎城形岡井島岡岡知道手城馬岡岡山川川野知知阪阪庫山島川知岡	大阪府		
	大兵岡岡山香愛高鹿沖宮愛大大福広北北秋福群埼静石石愛愛愛三福福大大奈島広香福福宮宮山静福徳福静高北岩宮群静富石石長愛愛愛大大兵岡広香高福	大阪府		
SDGs・男女共同参画推進				

東北ブロック商工会議所青年部連合会

令和5年度 役員

役職名	氏名	所属単会	都道府県
会長	山本 郷	一 関	岩 手
直前会長	阿部 眞喜	塩 釜	宮 城
副会長	太田 憲仁	む つ	青 森
副会長	武田 喜胤	大 館	秋 田
専務理事	足利 哲也	一 関	岩 手
常任理事（青森県連会長）	川村 祐樹	青 森	青 森
常任理事（岩手県連会長）	高橋 潤吉	花 巻	岩 手
常任理事（宮城県連会長）	浦山 淳	古 川	宮 城
常任理事（秋田県連会長）	岡 泰造	秋 田	秋 田
常任理事（山形県連会長）	佐藤 一則	酒 田	山 形
常任理事（福島県連会長）	菊地 一寛	白 河	福 島
未来への政策提言委員会委員長	金野 隆行	白 鶴	山 形
未来への伝承と挑戦委員会委員長	堀江 俊介	須 賀 川	福 島
各種大会連携室室長	桑原 竜之介	塩 釜	宮 城
理事（未来への政策提言委員会副委員長）	木田 茂雄	八 戸	青 森
理事（未来への伝承と挑戦委員会副委員長）	秋元 駿一	弘 前	青 森
理事（未来への政策提言委員会副委員長）	阿部 陸春	花 巻	岩 手
理事（未来への伝承と挑戦委員会副委員長）	卯城 正一	久 慈	岩 手
理事（未来への政策提言委員会副委員長）	菊池 権矢	気 仙 沼	宮 城
理事（未来への伝承と挑戦委員会副委員長）	早坂 憲佳	古 川	宮 城
理事（各種大会連携室副室長）	久保田 健一郎	大 曲	秋 田
理事（未来への伝承と挑戦委員会副委員長）	秋元 秀太郎	能 代	秋 田
理事（各種大会連携室副室長）	石田 一馬	山 形	山 形
理事（未来への政策提言委員会副委員長）	弦巻 岳	酒 田	山 形
理事（未来への政策提言委員会副委員長）	佐藤 雅一	会津喜多方	福 島
理事（未来への伝承と挑戦委員会副委員長）	有賀 裕二郎	白 河	福 島
監事	宮本 龍次	塩 釜	宮 城
監事	橋本 烈生	郡 山	福 島
相談役	齋藤 健太郎	大 曲	秋 田
顧問	吉川 裕太	秋 田	秋 田
顧問	菊池 孝一	五所川原	青 森
顧問	菅原 涉	気 仙 沼	宮 城
顧問	岩根 えり子	横 手	秋 田
顧問	高久 臣平	湯 沢	秋 田
専務理事補佐	遠藤 健志	一 関	岩 手
青森県連代表理事	外崎 耕士	青 森	青 森
岩手県連代表理事	三國 卓郎	花 巻	岩 手
宮城県連代表理事	澤田 朋子	古 川	宮 城
秋田県連代表理事	岩野 豪	湯 沢	秋 田
山形県連代表理事	中村 恵利	天 童	山 形
福島県連代表理事	和 知 健明	白 河	福 島

東北ブロック商工会議所青年部連合会

令和5年度 委員会

役職名	氏名	所属単会	都道府県
未来への政策提言委員会担当副会長	太田 憲仁	む つ	青 森
未来への政策提言委員会委員長	金野 隆行	鶴 岡	山 形
理事(未来への政策提言委員会副委員長)	木田 茂雄	八 戸	青 森
	阿部 陸春	花 巻	岩 手
	菊池 権矢	気仙沼	宮 城
	弦巻 岳	酒 田	山 形
	佐藤 雅一	会津若狭	福 島
未来への政策提言委員会	佐々木裕和	弘 前	青 森
	岡本 信也	八 戸	青 森
	徳田 祐之	黒 石	青 森
	村上 照幸	黒 石	青 森
	小田桐マキ子	五所川原	青 森
	相内 友博	む つ	青 森
	相馬 大希	む つ	青 森
	藤川雄一郎	盛 岡	岩 手
	西野 正寿	盛 岡	岩 手
	及川 健太	一 関	岩 手
	佐藤 正和	一 関	岩 手
	早野こずえ	花 巻	岩 手
	桑原 和也	仙 台	宮 城
	須藤 晃平	秋 田	秋 田
	虻川 洋行	大 館	秋 田
	後藤 正人	酒 田	山 形
	芳賀 崇利	鶴 岡	山 形
	吉田 純崇	鶴 岡	山 形
	槇山 秀都	米 沢	山 形
	松田 進	新 庄	山 形
	佐藤 義之	新 庄	山 形
	森藤 洋紀	福 島	福 島
	渡辺 仁	福 島	福 島
	阿部 大明	郡 山	福 島
	佐藤武諭毅	郡 山	福 島
未来への伝承と挑戦委員会担当副会長	武田 喜胤	大 館	秋 田
未来への伝承と挑戦委員会委員長	堀江 俊介	須賀川	福 島
理事(未来への伝承と挑戦委員会副委員長)	秋元 駿一	弘 前	青 森
	卯城 正一	久 慈	岩 手
	早坂 憲佳	古 川	宮 城
	秋元秀太郎	能 代	秋 田
	有賀裕二郎	白 河	福 島
未来への伝承と挑戦委員会	三浦 基	青 森	青 森
	鹿内 史芳	青 森	青 森

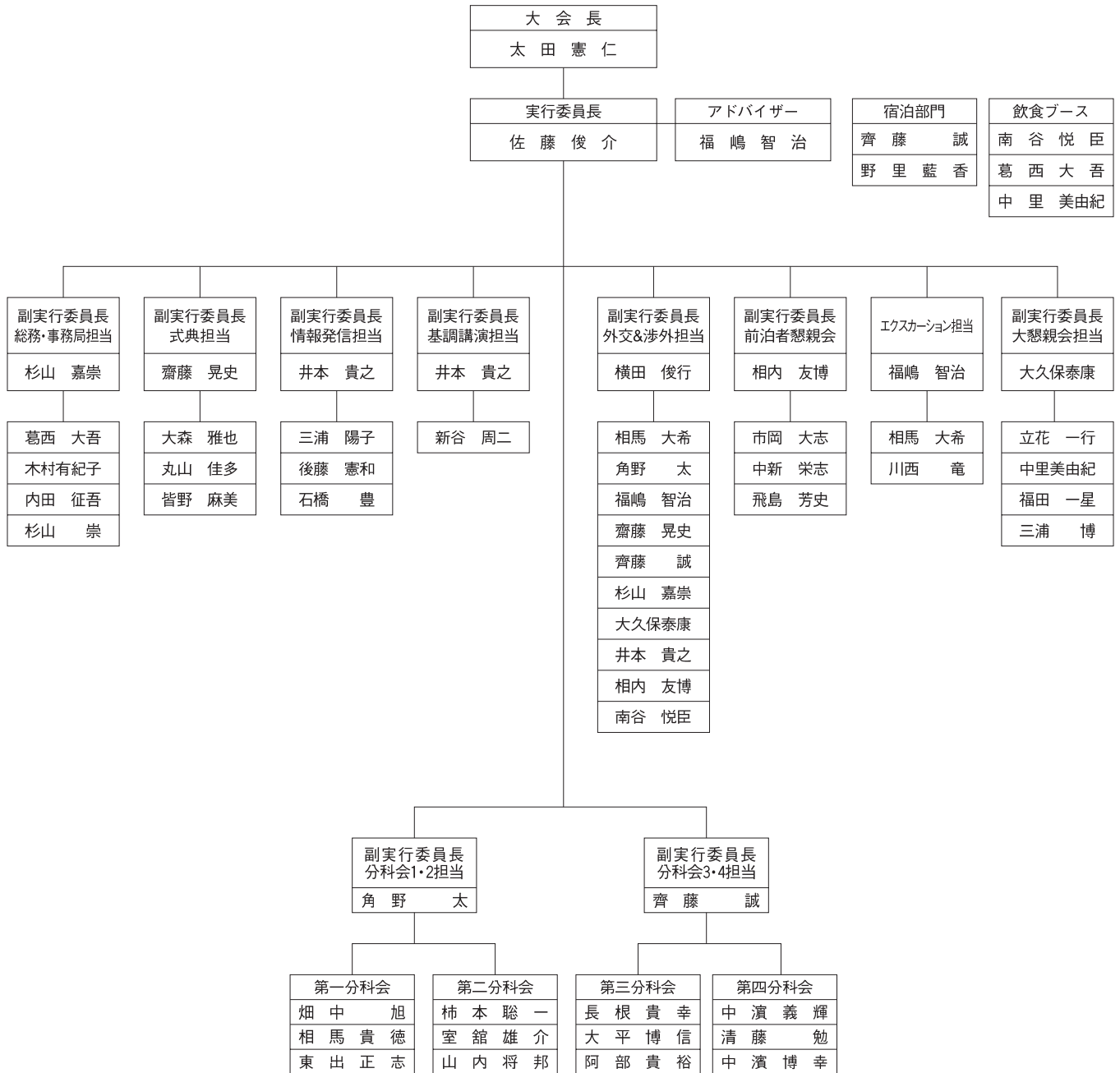
役職名	氏名	所属単会	都道府県
未来への伝承と挑戦委員会	千代谷一寿	青 森	青 森
	長谷川尚太	青 森	青 森
	齊藤 誠	む つ	青 森
	角野 太	む つ	青 森
	平野 順子	盛 岡	岩 手
	斉藤 義成	盛 岡	岩 手
	昆 直城	一 関	岩 手
	兜 千尋	一 関	岩 手
	高橋 英明	花 巻	岩 手
	岡崎 梓	仙 台	宮 城
	佐々木健哉	仙 台	宮 城
	鈴木 優介	秋 田	秋 田
	野田 光平	大 館	秋 田
	播磨 夏子	大 館	秋 田
	高橋 佳子	横 手	秋 田
	橋本 彰一	郡 山	福 島
	石塚 健二	白 河	福 島
専務理事	足利 哲也	一 関	岩 手
各種大会連携室 室長	桑原竜之介	塩 釜	宮 城
理事(各種大会連携室副室長)	久保田健一郎	大 曲	秋 田
理事(各種大会連携室副室長)	石田 一馬	山 形	山 形
各種大会連携室	鳥川 聖栄	弘 前	青 森
	佐藤 俊介	む つ	青 森
	室館 雄介	む つ	青 森
	伊藤 敬	盛 岡	岩 手
	平賀 雪雄	北 上	岩 手
	渡邊 和真	北 上	岩 手
	小田沢哲也	一 関	岩 手
	本山 泰督	仙 台	宮 城
	清川 晋	仙 台	宮 城
	本間 良	塩 釜	宮 城
	三浦 司	大 館	秋 田
	飯塚 康	湯 沢	秋 田
	佐野 雅通	横 手	秋 田
	行方進之介	米 沢	山 形
	矢萩 洋美	天 童	山 形
	菅野 知洋	原 町	福 島
	神野 聴文	二本松	福 島
	佐藤 和弘	郡 山	福 島
	鈴木 浩彰	郡 山	福 島

青森県商工会議所青年部連合会

令和5年度 役員

役職名	氏名	所属単会	役職名	氏名	所属単会
会長	川村 祐樹	青森	理事	秋元 駿一	弘前
直前会長	佐々木 裕和	弘前	理事	前田 完治	弘前
顧問	太田 憲仁	むつ	理事	三上 友子	弘前
顧問	菊池 孝一	五所川原	理事	木田 茂雄	八戸
相談役	福嶋 智治	むつ	理事	桑原 富美一	八戸
相談役	中村 知行	八戸	理事	立場 輝栄	八戸
副会長	工藤 信孝	青森	理事	田中 太将	八戸
副会長	中村 好孝	弘前	理事	玉川 聡子	八戸
副会長	松橋 里実	八戸	理事	久道 大輔	八戸
副会長	村上 慈人	黒石	理事	和田 智晴	八戸
副会長	横田 俊行	むつ	理事	石川 朋也	十和田
副会長	佐々木 佳弘	十和田	理事	石川 隆大	十和田
副会長	山田 真一	五所川原	理事	小笠原 大地	十和田
専務理事	長谷川 尚太	青森	理事	国分 大聡	十和田
県連代表理事	外崎 耕士	青森	理事	齊下 恭嘉	十和田
監事	佐藤 俊介	むつ	理事	古館 一郎	十和田
監事	佐川 武士	黒石	理事	齊藤 祐工	黒石
事務局長	小野 光太	青森	理事	徳田 賢治	黒石
理事	丸山 桂多	青森	理事	柴田 健太郎	黒石
理事	盛 周寿	青森	理事	瓜田 修平	黒石
理事	千代谷 一幸	青森	理事	三上 清崇	黒石
理事	油布 淳吉	青森	理事	棟上 照幸	黒石
理事	佐々木 史芳	青森	理事	村上 野健	五所川原
理事	鹿内 悟乃	青森	理事	太田 心生	五所川原
理事	対馬 彩乃	青森	理事	佐々木 邦和	五所川原
理事	種市 尚樹	青森	理事	上見 一嘉	五所川原
理事	浅木 伊久麻呂	青森	理事	今小笠原 孝夫	五所川原
理事	楠美 奈緒子	青森	理事	小笠原 崇文	五所川原
理事	小寺 公陽	青森	理事	近藤 陽介	五所川原
理事	長谷川 龍太郎	青森	理事	齊藤 誠輝	むつ
理事	倉橋 将徳	青森	理事	中濱 義輝	むつ
理事	鎌田 拓郎	青森	理事	相内 友博	むつ
理事	遠藤 第司	青森	理事	杉山 嘉崇	むつ
理事	奈良 聖栄	弘前	理事	杉谷 悦臣	むつ
理事	島川 卓也	弘前	理事	南谷 本一	むつ
理事	石田 晋也	弘前	理事	柿久保 泰康	むつ
理事	葛西 圭介	弘前	理事	大久保 周二	むつ
理事	成田 浩浩	弘前	理事	新井 周貴	むつ
理事	角田 直	弘前	理事	新井 貴之	むつ
理事	佐藤 直	弘前	理事	角野 太	むつ

第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会 実行委員会組織図



東北ブロック大会のあゆみ

大会開催年月日(式典) 主管単会	大会開催回数及び大会名称	ブロック会長(所属単会)
	大会スローガン	
昭和57年 9月17日 福島県 原町YEG	第1回 東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 若い力を結集し 商工会議所に新たなる飛躍を	
昭和58年 9月18日 山形県 鶴岡YEG	第2回 東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 拡げよう 若い力を全国に	
昭和59年 9月15日 宮城県 塩釜YEG	第3回 東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 拓こう若い力 未来への道	
昭和60年 9月14日 岩手県 一関YEG	第4回 東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 活かせ英知 若さで築こう地域の経済	
昭和61年 9月27日 秋田県 大館YEG	第5回 東北・北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 商工会議所 若さがつくる新時代	初代会長 菅原 周二 (塩釜YEG)
昭和62年 9月19日 北海道 登別YEG	第6回 東北・北海道ブロック運営研究会 翔こう商青連、創ろう日本の未来	菅原 周二 (塩釜YEG)
昭和63年 9月10日 山形県 長井YEG	第7回 東北ブロック運営研究会 創ろう ふるさと21世紀への礎(いしずえ) 生き生き行こうTOUHOKU21	菅原 周二 (塩釜YEG)
平成元年10月1日 青森県 青森YEG	第8回 東北ブロック運営研究会 北の時代 一つくろう、人のネットワーク	鈴木 隆則 (長井YEG)
平成2年 9月1日 福島県 郡山YEG	第9回 東北ブロック運営研究会 翔け世界へ 新しい時代の開拓者(パイオニア)	中村 公英 (青森YEG)
平成3年 8月15日 宮城県 石巻YEG	第10回 東北ブロック運営研究会 時代を先駆ける賢明なYEG(若き起業家集団)たらん	野地 純一 (郡山YEG)
平成4年 7月18日 岩手県 花巻YEG	第11回 東北ブロック運営研究会 地域における“新しい風”トレンド・“熱い風”トレンド	徳増 良平 (石巻YEG)
平成5年 9月4日 岩手県 花巻YEG	第12回 東北ブロック運営研究会 共に築こう、豊かな郷土、東北の新時代	藤本 純一 (花巻YEG)
平成6年10月15日 山形県 山形YEG	第13回 東北ブロック大会 山形大会 おこそう行動YEG ~交流そして連携へ~	賢木 新悦 (秋田YEG)
平成7年10月21日 青森県 八戸YEG	第14回 東北ブロック大会 八戸大会 研げ感性、拡げよフィールド YEG連携時代	新関 芳則 (山形YEG)
平成8年 9月26日 福島県 会津若松YEG	第15回 東北ブロック大会 会津若松大会 会津から発信 YEG連携の合図	稲田 稔 (八戸YEG)
平成9年10月8日 宮城県 古川YEG	第16回 東北ブロック大会 古川大会 「夢の音」「夢の色」「夢の街」夢から実現へ出発	伊藤 裕康 (会津若松YEG)
平成10年10月14日 岩手県 北上YEG	第17回 東北ブロック大会 北上大会 YEGの原点へ 躍動、感動、行動 そして連携の和	千葉富士夫 (古川YEG)
平成11年10月13日 秋田県 湯沢YEG	第18回 東北ブロック大会 湯沢大会 挑戦、飛躍、共生 新世紀へのかけ橋 —YEGネットワーク—	関根 敏伸 (北上YEG)
平成12年 9月22日 山形県 米沢YEG	第19回 東北ブロック大会 米沢大会 鷹山公現る 大胆なチャレンジ 21世紀の地域づくり	高橋 弘隆 (湯沢YEG)
平成13年 9月22日 青森県 弘前YEG	第20回 東北ブロック大会 弘前大会 —絆— 地域は接点、人が原点	斎藤 明彦 (米沢YEG)
平成14年10月4日 福島県 福島YEG	第21回 東北ブロック大会 福島大会 「東北中心宣言」2002年 うつくしまふくしま大会	鈴木 順三 (弘前YEG)

- ・第1回～第4回大会までは、ブロック組織なし、会長も置いていない。 ・第1回～第6回大会までは、東北・北海道ブロックで共同開催。(北海道に単会が少なかった為)。 ・第1回～第6回大会までは、商青連(日本YEG)の全国大会スローガンを使用。
- ・第7回大会から、東北ブロックオリジナルの大会スローガンを作る。 ・第13回大会から、「東北ブロック大会」の名称を使用。

大会開催年月日(式典) 主管単会	大会開催回数及び大会名称	ブロック会長(所属単会)
平成15年9月26日 宮城県 気仙沼YEG	第22回 東北ブロック大会 気仙沼大会 東北再生へ舵を取れ!!	坪井 大雄(福島YEG)
平成16年8月20日 岩手県 大船渡YEG	第23回 東北ブロック大会 大船渡大会 黄金の岩手でさあさあお祭りだ!!	坂井 正行(気仙沼YEG)
平成17年9月23日 秋田県 能代YEG	第24回 岩手ブロック大会 能代大会 DUNK to the future ～進め!チーム東北～	淵上 清(大船渡YEG)
平成18年9月29日 山形県 酒田YEG	第25回 東北ブロック大会 酒田大会 きたまえに、来たまえ!公益と商人の街から、アントレプレナーズだの～	銅谷 昭(能代YEG)
平成19年9月22日 青森県 八戸YEG	第26回 東北ブロック大会 八戸大会 地域創発 地域ブランド構築による東北再生へのシナリオ!	西村 修(酒田YEG)
平成20年9月20日 福島県 須賀川YEG	第27回 東北ブロック大会 須賀川大会 「New impulse」～あらたな衝撃を東北から世界へ、そして未来へ～	武論 俊彦(八戸YEG)
平成21年9月12日 宮城県 仙台YEG	第28回 東北ブロック大会 仙台大会 活東北!元気な会社を、元気の街を、YEGの手で創ろう!!	安田 喜好(須賀川YEG)
平成22年9月4日 岩手県 奥州YEG	第29回 東北ブロック大会 奥州 奥州 BigBang ☆ ～集結・創出・発言 東北の輝(ひかり)を放て!～	新田 秀悦(仙台YEG)
平成23年9月3日 青森県 青森YEG	第30回 東北ブロック大会 青森大会 我で発案!輪で発信!和で発展!集え^{KUNI}の^{WA}里へ	及川 潤(奥州YEG)
平成24年9月15日 秋田県 横手YEG	第31回 東北ブロック大会 横手大会 一人の力 みんなの力 東北の力 和親^{わしんいっち}一致で未来を創ろう!	西 秀記(青森YEG)
平成25年9月21日 山形県 天童YEG	第32回 東北ブロック大会 天童大会 YEGは地球を救う ～真の復興に向けて^ほ歩を進めよう～	岩佐 信宏(横手YEG)
平成26年9月27日 福島県 いわきYEG	第33回 東北ブロック大会 福島いわき大会 EXCHANGE(まじわっぺ) YEG 東北の力を日本へ、世界へ	山口 敦史(天童YEG)
平成27年9月19日 宮城県 石巻YEG	第34回 東北ブロック大会 みやぎ石巻大会STAGE 感謝 ～そして新たなステージへ～	曾我 泉美(いわきYEG)
平成28年9月17日 岩手県 盛岡YEG	第35回 東北ブロック大会 いわて盛岡大会 幸呼来いわて ～不来方のまちに集いし YEG HAPPY東北45の心～	中川 尚仙(石巻YEG)
平成29年9月2日 青森県 五所川原YEG	第36回 東北ブロック大会 青森ごしょがわら大会 津軽の郷で笑顔が躍動する ヤッテマレ東北!ヤッテマレYEG!	野坂 哲司(盛岡YEG)
平成30年9月7日 秋田県 大曲YEG	第37回 東北ブロック大会 秋田おおまがり大会 ぶちあげろ!!!大曲から KIZUKI東北YEG45の価値と未来	中山 佳(五所川原YEG)
令和元年9月28日 山形県 新庄YEG	第38回 東北ブロック大会 やまがた新庄大会 山車(だし) 尽くせ!YEG魂(SOUL)	伊藤 洋平(大曲YEG)
令和2年10月31日 福島県 白河YEG	第39回 東北ブロック大会 福島しらかわ大会 士民共楽 東北共楽 人・歴史・文化が交わる古の関^{いにしえ}	上嶋 竜一(新庄YEG)
令和3年10月9日 宮城県 塩釜YEG	第40回 東北ブロック大会 宮城しおがま大会 Gift ～海から生み出せ!東北の兆し!～	富山 強(白河YEG)
令和4年9月10日 岩手県 一関YEG	第41回 東北ブロック大会 岩手いちのせき大会 招福万来^{しょうふくばんらい} ～動き集い 東北の幸せに繋ぐ～	阿部 眞喜(塩釜YEG)
令和5年10月7日 青森県 むつYEG	第42回 東北ブロック大会 青森むつ下北大大会 #CHANCE ～むっつの魅力の彩北体験～	山本 郷(一関YEG)

東北ブロック内単会所在地

青森

- ③9 青森YEG
- ④0 弘前YEG
- ④1 八戸YEG
- ④2 十和田YEG
- ④3 黒石YEG
- ④4 五所川原YEG
- ④5 むつYEG

秋田

- ①6 秋田YEG
- ①7 能代YEG
- ①8 大館YEG
- ①9 横手YEG
- ②0 湯沢YEG
- ②1 大曲YEG

山形

- ②2 山形YEG
- ②3 酒田YEG
- ②4 鶴岡YEG
- ②5 米沢YEG
- ②6 新庄YEG
- ②7 長井YEG
- ②8 天童YEG

岩手

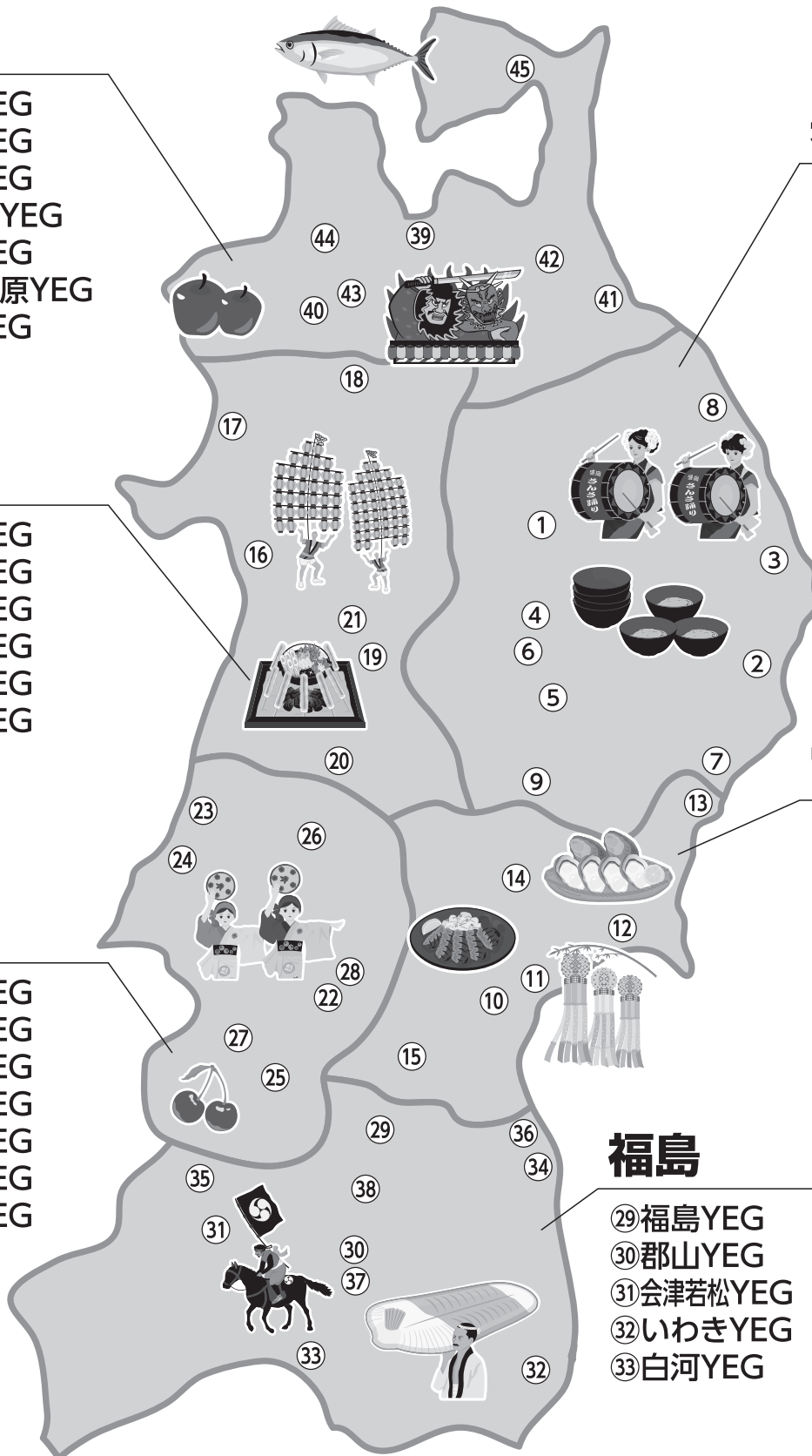
- ① 盛岡YEG
- ② 釜石YEG
- ③ 宮古YEG
- ④ 花巻YEG
- ⑤ 奥州YEG
- ⑥ 北上YEG
- ⑦ 大船渡YEG
- ⑧ 久慈YEG
- ⑨ 一関YEG

宮城

- ⑩ 仙台YEG
- ⑪ 塩釜YEG
- ⑫ 石巻YEG
- ⑬ 気仙沼YEG
- ⑭ 古川YEG
- ⑮ 白石YEG

福島

- ②9 福島YEG
- ③0 郡山YEG
- ③1 会津若松YEG
- ③2 いわきYEG
- ③3 白河YEG
- ③4 原町YEG
- ③5 会津喜多方YEG
- ③6 相馬YEG
- ③7 須賀川YEG
- ③8 二本松YEG



単会紹介

岩手県商工会議所青年部連合会

①盛岡商工会議所青年部

- 設立年月日／平成14年9月10日
- 会員数／119名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／藤原 英里
- 事務局住所／〒020-8507
岩手県盛岡市清水町14-12
- 事務局連絡先／TEL:019-624-5880



単会 PR

昨年20周年を迎え、新たなる一步を踏み出した盛岡YEGは、今年度は『SHINKA』～しなやかに変化し成長する組織へ～をスローガンに5つの委員会にて活動しています。政策提言につなげる風会議やまち歩き事業、高校生サミット、ビジネスセミナーや親会・女性会との交流、もりおかさんさ踊りや盛岡花火の祭典での出店、会員の拡大育成等々に活動しています。新たなるチャレンジ(新化)やさらなる探究(深化)を通じて組織を進化させ、真価を高めていけるようメンバー一同邁進しています！

②釜石商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和60年3月28日
- 会員数／28名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／大和田 崇士
- 事務局住所／〒026-0021
岩手県釜石市只越町1-4-4
- 事務局連絡先／TEL:0193-22-2434



単会 PR

釜石商工会議所青年部は、昭和60年3月に設立し、今年で38年目となります。東日本大震災から12年経ち、浸水した地域には、新しい住宅や店舗も多くなりました。世界中に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も第5類に分類することとなり行動制限が緩和された新たな一年がスタートします。様々な区切りと考えているこの一年を「新たな一步を踏み出す」絶好のタイミングと考えており、今年度のスローガンとさせていただきます。「鉄と魚とラグビーのまち」釜石へぜひいらしてください。

③宮古商工会議所青年部

- 設立年月日／平成2年11月7日
- 会員数／33名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／法人企業20,000円 個人企業10,000円
- 会長名／杉本 裕樹
- 事務局住所／〒027-0074
岩手県宮古市保久田7番25号
- 事務局連絡先／TEL:0193-62-3233



単会 PR

令和5年度はCOME ALIVE ~新時代へ~をスローガンに掲げ、地域内の飲食店を支援する地域経済活性化事業と、会員拡大と各々のスキルアップに向けた勉強会を実施する予定です。また、夏まつりなどの地域活性化事業にも積極的に参加しております。

④花巻商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和59年11月1日
- 会 員 数／110名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／20,000円
- 会 長 名／小田島 裕樹
- 事務局住所／〒025-0075
岩手県花巻市花城町10番27号
- 事務局連絡先／TEL:0198-23-3381



単会
PR

花巻商工会議所は昭和59年の創立以来、花巻を盛り上げるべく様々なイベントに尽力して参りました。今年度は「同心協力」のスローガンのもと地域を支える青年経済人として歴史と文化が残る笑顔あふれる故郷「花巻」のために一分一秒ときを逃さず、幅広い異業種の集まりである青年部会員一人ひとりの発想とノウハウ、スケールメリットを最大限に活かし、社会課題に対する取り組みと笑顔あふれるまち「イーハトーブはなまき」の未来に向けた事業を全力で進めてまいります。

⑤奥州商工会議所青年部

- 設立年月日／平成21年4月10日
- 会 員 数／91名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／25,000円
- 会 長 名／宍戸 紀幸
- 事務局住所／〒023-0818
岩手県奥州市水沢東町4
- 事務局連絡先／TEL:0197-24-3141



単会
PR

今年度は「新時代に舵をとれ ~奥州の未来を創るのは俺たちだ!~」をスローガンに掲げ活動しております。昨年度からの取り組みである地方公共団体や上部団体への「政策提言活動」に加え、本年度は「DXの推進」に取り組んでまいります。私達の活動が地域の発展に寄与できるよう、仲間との絆を深めながら、積極的に活動して参ります。

⑥北上商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和60年2月20日
- 会 員 数／89名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／30,000円
- 会 長 名／高橋 卓
- 事務局住所／〒024-0031
岩手県北上市青柳町2-1-8
- 事務局連絡先／TEL:0197-65-4211



単会
PR

当青年部は会員相互の親睦と連携を密にし、青年経済人として研鑽を積むため、講習会や他単会との交流事業、地域に根差した事業などを実施しています。今年度は、会員親睦を目的として会員交流事業『YEG夏祭り』を開催しました。次代を担う子どもたちに「鬼」の文化に触れ知ってもらい、事業を通じて文化を伝承しつつ新しい文化の創造につなげることを目的とした、『北上会鬼(あき)祭』、『遊鬼まつり』『鬼の訪問』をそれぞれ開催に向けて準備を進めております。また、政策提言活動にも取り組み、将来提言を実施できるよう北上市の政策を学ぶべく講演の場を設けるなど積極的に取り組んでいます。

⑦大船渡商工会議所青年部

- 設立年月日／平成7年12月8日
- 会員数／35名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／米谷直
- 事務局住所／〒022-0003
岩手県大船渡市盛町字中道下2-25
- 事務局連絡先／TEL:0192-26-2141



単会 PR

21世紀に入り、アメリカ同時多発テロ、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の混乱、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍晋三元首相銃撃事件等、いつ何が起きるか分からない、混沌の時代を私たちは生きています。この様な時代を生き抜いて行くためには、自らの質を高めて行く意識と行動こそが何よりも大切です。

私たち大船渡商工会議所青年部は、「to THE NEXT ~次代へ繋ぐ~」をスローガンに、会員の研修に対する取り組み、県内外の青年部との連携・交流を介した地域の活性化に対する取り組み、会員企業のビジネス活性化に対する取り組み、政策提言に対する取り組み、そして会員拡大に対する取り組みを通し、地域活性化の原動力になって行きたいと考えています。

⑧久慈商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和55年4月1日
- 会員数／25名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／20,000円
- 会長名／小泉好明
- 事務局住所／〒028-0065
岩手県久慈市十八日町1-45
- 事務局連絡先／TEL:0194-52-1000



単会 PR

今年度は、「電光石火」をスローガンに掲げ活動しております。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、市内飲食店に向けた消毒液配布事業や、北三陸地域の未来予想図を語り合うパネルディスカッション事業など地域の個性や魅力を再発見するとともに、心豊かで持続可能な新しい地域社会の実現を目指し活動してまいりました。

今年度も更なる地域社会への貢献と経済発展の為に素早く行動し、久慈YEGとして常に先手を取り続け、活動に一層努力してまいります。

⑨一関商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和57年7月1日
- 会員数／174名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／25,000円
- 会長名／小野寺伸吾
- 事務局住所／〒021-0867
岩手県一関市駅前1番地
- 事務局連絡先／TEL:0191-23-3434



単会 PR

昨年は、第41回東北ブロック大会岩手いちのせき大会の開催にあたり、多くの皆様のご登録を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年度は40周年を迎え、会員の団結をさらに強くした1年となりました。一関YEGは単会内に8つの支部が存在し、それぞれにも事業を行っております。本年度は強めた団結の上さらなる交流を深め、活発な活動を推進してまいります。YEG活動が自社の発展につながり、それが地域を元気にしていくと信じ、将来を見据え仲間を増やし、楽しく、元気に将来を築いていくYEGを目指します。一関は海以外何でもある町です。ぜひ一関にお立ち寄りください。

単会紹介

宮城県商工会議所青年部連合会

⑩ 仙台商工会議所青年部

- 設立年月日 / 平成14年 6月25日
- 会 員 数 / 224名
- 卒業年齢 / 45歳
- 年会費 / 36,000円
- 会長名 / 守川 雷太
- 事務局住所 / 〒980-8414
宮城県仙台市青葉区本町2-16-12
- 事務局連絡先 / TEL:022-265-8127



単会 PR

YEG活動の大きな柱のひとつである「交流」をキーワードに、行政の若手職員と地域の未来について議論を行う「伊達な風会議」の開催をはじめ、他単会や関係団体と強固に連携した事業を展開しています。コロナによる活動制限も解除され、より積極的に活動が行える本年は、一人ひとりのアイデア・想い・意志をつぶさに捉えながら、仙台YEG内に留まることなく多くの方々と交流を深め、信頼の輪を拡大していきます。

⑪ 塩釜商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和58年 4月 2日
- 会 員 数 / 65名
- 卒業年齢 / 45歳
- 年会費 / 40,000円
- 会長名 / 阿部 力
- 事務局住所 / 〒985-0016
宮城県塩竈市港町1-6-20
- 事務局連絡先 / TEL:022-367-5111



単会 PR

塩釜YEGは今年度「THE POWER OF YEG~それぞれが先頭に立って、仲間と共に~」とスローガンを掲げ、会員間の交流を深めながら研鑽を積み、そして新型コロナウイルス感染症の流行で疲弊した地域経済や、まちの活気を取り戻すべく、様々な事業を展開しています。昨年度、設立40周年の節目を迎えた当YEGですが、記念すべき設立50周年に向けて、諸先輩方が築いた伝統を守りながら、新たな試みにもどんどん挑戦していきます。

⑫ 石巻商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和61年11月 7日
- 会 員 数 / 75名
- 卒業年齢 / 55歳
- 年会費 / 36,000円
- 会長名 / 今野 貴史
- 事務局住所 / 〒986-0822
宮城県石巻市中央二丁目9-18
- 事務局連絡先 / TEL:0225-22-0145



単会 PR

石巻は海、山、川と豊富な資源に恵まれた街です。震災の爪痕が残るも、確実に前進し、美しい街に生まれ変わろうとしています。石巻YEGは、青年経済人として、資質向上と会員間の親睦交流、地域経済への貢献事業を推進すべく活動しております。今年度は会員拡大委員会・まちづくり委員会・会員交流委員会の3委員会を中心に様々な事業を行っております。特に、街の最大のイベントである「第100回石巻川開き祭り」においては、記念大会ということで、お祭りの中心となって、賑わいを創出し、お祭りはこれまでにない盛り上がりを見せました。また、下期には、婚活事業をはじめとする様々な事業を計画しております。近年、社会情勢はめまぐるしい速さで日々変化しております。石巻YEGも対内的、対外的にも変化していきながら、より良い街づくりに取り組んでいき、「変革」の年にしていきたいと思います。

⑬気仙沼商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和62年1月24日
- 会員数／30名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／20,000円
- 会長名／齋藤 徹
- 事務局住所／〒988-0084
宮城県気仙沼市八日町2-1-11
- 事務局連絡先／TEL:0226-22-4600



単会 PR

気仙沼YEGでは「共に学び、育とう～支え、温め、心を寄せて～」を活動スローガンに掲げ、様々な事業活動を行っております。市の夏の最大のイベントである気仙沼みなとまつりへの参加や基幹産業を中心に古くから交流を図っているインドネシア共和国との交流促進を目的としたインドネシアフェスティバルの開催や、当市においても深刻な課題となっている人口減少や他地域への人材流失に対する事業として、地域を担う地元の中学生との交流を図り、将来的な地元就職や地元で働くことを選択肢にしてもらうことを目的とした地域教育事業など、気仙沼の若き青年経済人の力で地域経済の発展と健全な地域社会を築き上げるため日々の活動に励んでおります。

⑭古川商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和63年7月11日
- 会員数／56名
- 卒業年齢／45歳
- 年会費／36,000円
- 会長名／倉島 成治
- 事務局住所／〒9896-6166
宮城県大崎市古川東町5-46
- 事務局連絡先／TEL:0229-24-0055



単会 PR

我々古川YEGは、地域経済の発展を目指し地元青年団体や行政と三位一体となり10年先、20年先を見据え住みよい郷土づくりを目指しております。また会員企業の発展を目的とし、他青年団体との交流や講師例会などを行い積極的に活動しております。

⑮白石商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和61年3月17日
- 会員数／17名
- 卒業年齢／53歳
- 年会費／24,000円
- 会長名／小室 晃
- 事務局住所／〒989-0256
宮城県白石市字本鍛冶小路13番地
- 事務局連絡先／TEL:0224-26-2191



単会 PR

白石商工会議所青年部は会員数17名という少数精鋭のメンバーで地域の発展のために日々奮闘しております。本年度は、コロナ禍前の例年の行事の復活のみならず、新しい取り組みへの挑戦の意味を込めて「new challenge～白石を想う仲間と共に～」をスローガンに掲げております。メンバー間の交流や地域のPR、各地商工会議所青年部の皆様との交流に加え、積極的に新たな挑戦にも取り組んで参ります。

単会紹介

秋田県商工会議所青年部連合会

①⑥秋田商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和47年 6月29日
- 会 員 数／195名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／36,000円
- 会 長 名／江島 勝志
- 事務局住所／〒010-0923
秋田県秋田市旭北錦町1番47号
- 事務局連絡先／TEL:018-866-6677



単会
PR

秋田YEGは令和4年に50年を迎えました。令和5年度スローガン『グレートリセット～温故知新、そして次代へ～』のもと、日本商工会議所青年部第42回全国大会「美の国あきた大会」開催単会として、これまでの50年間の歩みを検証し、より良い秋田を創造するため、分野を超えた協力とイノベーションの体制を構築するとともに、青年経済人として常に前を向き、行動を続け、真の次代の担い手として地域を先導してまいります。

①⑦能代商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和62年12月16日
- 会 員 数／55名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／36,000円
- 会 長 名／加藤 裕介
- 事務局住所／〒016-0831
秋田県能代市元町11-7
- 事務局連絡先／TEL:0185-52-6341



単会
PR

能代YEG内でのメインイベントである「のしろみなと祭り」をはじめ、様々な事業を通じて地域の発展に貢献します。

①⑧大館商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和54年 8月20日
- 会 員 数／67名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／34,000円
- 会 長 名／中田 峻
- 事務局住所／〒017-0044
秋田県大館市御成町二丁目 8番14号
- 事務局連絡先／TEL:0186-43-3111



単会
PR

秋田県と青森県の県境に位置する「大館」は、比内地鶏やきりたんぼ、曲げわっぱといった全国に誇る魅力ある地域の特産品があるまちです。また、忠犬ハチ公の出生地でもあり、秋田犬とふれあえる施設もあります。こうした観光資源の魅力を、YEG事業を通じてお伝えし地域貢献へとつなげております。年齢や先輩後輩による上下関係はほとんど関係なく、皆とても思いやりがあって優しい信頼できる良い仲間です。これこそが大館YEGの土壤です！

⑱横手商工会議所青年部

- 設立年月日／平成7年10月12日
- 会員数／49名
- 卒業年齢／満50歳
- 年会費／35,000円
- 会長名／石井 孝幸
- 事務局住所／〒013-0021
秋田県横手市大町7番18号
- 事務局連絡先／TEL:0182-32-1170



単会 PR

今年度のスローガン「強い横手YEG ~自身の成長、交流による人脈作りと、横手の発展~」の元会員及び横手市全体の経済活動を促進させる活動をしています。①自分自身と自社の成長を求める向上心②チャレンジする意欲③優しさ・思いやり④「世のため人のため」⑤心身の健康の5つをモットーに「強い横手YEG」を目指します。継続事業である「ジュニアエコノミーカレッジ」「小学校低学年スポーツ大会YOKOTE DREAM CUP」にもビジネスの要素をプラスして運営いたします。

また、本年度は初めての事業である「馬口労町まつり」を開催し新型コロナウイルス感染症の影響が特に大きかった飲食店を盛り上げるべく活動して参ります。

⑳湯沢商工会議所青年部

- 設立年月日／平成元年4月1日
- 会員数／31名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／35,000円
- 会長名／若狭 誠一郎
- 事務局住所／〒012-0826
秋田県湯沢市柳町一丁目1-13
- 事務局連絡先／TEL:0183-73-6111



単会 PR

会員数は少ないですが、青年経済人として個々に持っている能力を集めてそして若き行動力で自らの事業所は勿論地域振興の盛上げに努めております。また、湯沢市ならではのお祭りなどを通してYEGとしての事業も行っていますので、ぜひ足を運んでみてください。

㉑大曲商工会議所青年部

- 設立年月日／平成9年6月1日
- 会員数／70名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／荒屋舗 栄明
- 事務局住所／〒014-0027
秋田県大仙市大曲通町1-13
- 事務局連絡先／TEL:0187-62-1262



単会 PR

大曲YEGは毎年70万人ものお客様が来場される全国花火競技大会「大曲の花火」の会場運営をはじめ、青年部が主管する商工会議所野球大会の運営、継続事業である商工会議所まつり、市民夏まつりへの参画、そして地元の子供たちへ「大曲の花火」の魅力と誇りを感じてもらえるよう花火についての課外授業を開催し、地域の活性化事業と併せて、未来を担う子供たちの健やかな成長を願う事業運営を行っております。

単会紹介

山形県商工会議所青年部連合会

②山形商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和58年4月1日
- 会員数／96名
- 卒業年齢／45歳
- 年会費／50,000円
- 会長名／須藤 雅人
- 事務局住所／〒990-8501
山形県山形市七日町3-1-9
- 事務局連絡先／TEL:023-622-4666



新
 ～伝統、情熱、挑み続ける山形YEG～

単会 PR

私たち山形YEGは、毎年9月の連休に開催し今年で第35回となるメイン事業の「日本一の芋煮会フェスティバル」を始め、山形の花笠まつりを盛り上げるべく開催している「山形花笠食フェスタin文翔館」の他、地域の人口減少対策として「山形街コン」、初市の伝統を継承していく為に初鮎製作の実演や納豆汁の配布、モンテディオ山形を微力ながら応援する為に街中へのフラッグ掲示等、地域を盛り上げる為のイベントや活動を行っております。また、新潟の村上YEGと友好YEGを結んでおり、今年は山形YEG、村上YEG共に40周年を迎え、友好YEG締結20周年となります。会員は、多くのイベントを通じて、自己研鑽や仲間づくりをしております。

③酒田商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和61年5月10日
- 会員数／90名
- 卒業年齢／49歳
- 年会費／30,000円（新会員は初年度のみ20,000円）
- 会長名／矢野 慶太
- 事務局住所／〒998-8502
山形県酒田市中町2-5-10 酒田産業会館2F
- 事務局連絡先／TEL:0234-22-9311



Departure for New Age, with 酒田 YEG!
 いざゆこう！ 酒田さかたから新時代的大海原へ～

単会 PR

私たち酒田商工会議所青年部は、次代の酒田の経済を担うべき企業後継者や若手経営者・社員が集い、自企業の発展と豊かで住みよい地域社会づくりへの貢献、会員相互の交流促進、さらには会員自身の資質向上を目的として、日々活動を行っております。SDGs、ESG等、目まぐるしく変化する社会に柔軟な対応を目指す研修事業や、酒田まつり、さかた北前朝市、酒田日本海寒鰯まつりなど四季折々の地域行事への参画、行政に対する政策提言など、多方面にわたる充実した事業活動を通じて、会員相互の絆を深めることはもちろんのこと、同世代、先輩後輩経営者との人脈構築を目指しております。

④鶴岡商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和34年7月
- 会員数／56名
- 卒業年齢／49歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／尾川 勝洋
- 事務局住所／〒997-8585
山形県鶴岡市馬場町8-13
- 事務局連絡先／TEL:0235-24-7711



凌雲之志
 ～未来を見つめ今を邁進～

単会 PR

鶴岡商工会議所青年部は、全国で4番目に古い歴史のある単会です。今年度のスローガン「凌雲之志～未来を見つめ今を邁進～」には、諸先輩方が刻んできた鶴岡YEGの歴史と文化を尊重しながらも新たな創造に向けて高い志をもって活動していくという思いを込めております。令和7年度に開催される東北ブロック大会に向けて鶴岡YEG一丸となり邁進してまいります。

②5米沢商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和57年12月13日
- 会 員 数／143名
- 卒業年齢／45歳
- 年会費／36,000円
- 会 長 名／渡邊 豪
- 事務局住所／〒992-0045
山形県米沢市中央4-1-30
- 事務局連絡先／TEL:0238-21-5111



単会
PR

私たち米沢YEGは地域を支える青年経済人として、メンバー同士が協力し、コロナ禍の逆境においても研鑽し前に進み続けてきました。令和5年度はようやく通常の活動の再開が期待されますが、これまで通りのYEG活動に戻すのではなく、さらに前へ、より実りのある活動を目指していきます。

また、今年は米沢YEGの未来のため、積極的に会員拡大をおこなっていきます。Go To Next YEG !それぞれがスピード感を持って変化し、メンバー全員が主役となって楽しみながら活動していきます！

②6新庄商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和60年3月26日
- 会 員 数／43名
- 卒業年齢／49歳
- 年会費／30,000円
- 会 長 名／西田 英之
- 事務局住所／〒996-0022
山形県新庄市住吉町3-8
- 事務局連絡先／TEL:0233-22-6855



単会
PR

新庄商工会議所青年部はポストコロナの新時代に更なる飛躍をするため組織強化に取り組んでいます。

メンバーが積極的に参加し、新しいアイデアやアプローチを取り入れ、変化に対応する柔軟性を持つことで、常に進化し続ける組織を目指します。また、地域社会との交流や協力関係を築くことで、地域の課題に対して積極的に取り組み、地域に貢献していきます。

会員数減少に歯止めをかけ、持続可能で魅力的なYEGを共創するスタートの年度としています。

②7長井商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和50年4月1日
- 会 員 数／64名
- 卒業年齢／49歳
- 年会費／30,000円
- 会 長 名／蜂谷 拓郎
- 事務局住所／〒993-0011
山形県長井市館町北6番27号
- 事務局連絡先／TEL:0238-84-5394



単会
PR

「Step by Step 一步一步、着実に」のスローガンの下、2年ぶりの開催となる「長井版風会議」(行政職員との交流)の開催、講師例会や他団体との交流、そして昨年度に引き続き会員拡大とボランティア活動を行って参ります。コロナ禍により出来なかったこと失われたものを取り戻すべく、一步一步今できることに向き合いながら、会員それぞれのレベルアップに努めて参ります。青年部会活動を通じて、自社企業の発展、自己研鑽、ひいては地域貢献実現に向けて邁進いたします。

②8 天童商工会議所青年部

- 設立年月日 / 平成 5 年 6 月 16 日
- 会 員 数 / 68 名
- 卒 業 年 齢 / 45 歳
- 年 会 費 / 30,000 円
- 会 長 名 / 遠藤 哲也
- 事務局住所 / 〒994-0013
山形県天童市老野森1-3-28
- 事務局連絡先 / TEL:023-654-3511



単会
PR

令和5年度は「らしさあふれる天童YEG」～一期一会&チャレンジ365～をスローガンに掲げ、我々天童YEG“らしさ”を再認識し、その“らしさ”を大切にしたいオンリーワンの魅力ある経済団体について考え、チャレンジしてまいります。また、設立当初から開催している「天童冬の陣 令和鍋合戦」などの事業を通して、魅力ある天童をYEGからメンバー一丸となって発信していきます。

単会紹介

福島県商工会議所青年部連合会

②9 福島商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和60年 4 月 12 日
- 会 員 数 / 72 名
- 卒 業 年 齢 / 48 歳
- 年 会 費 / 50,000 円
- 会 長 名 / 野地 大輔
- 事務局住所 / 〒960-8053
福島県福島市三河南町1-20
- 事務局連絡先 / TEL:024-572-7118



単会
PR

福島商工会議所青年部は昭和60年に設立し、来年度で40周年を迎えます。35周年時には、5年間継続して行ってきた古閑裕而関連事業で福島市出身の古閑裕而氏をモデルにしたNHK連続テレビ小説が2020年の前期に放送が決定するなど活動が実を結びました。また昨年には球界の功労者をたたえる「2022年野球殿堂入り」にて「六甲おろし」「闘魂こめて」「栄冠は君に輝く」など多くの野球応援歌を作曲したことで見事殿堂入りを果たしました。この事業を実現するには多くの障害や困難もありましたが、常に前進し続ける姿勢を持ち、挑戦してきました。その結果、仲間との強い絆が生まれ、その絆をもとに次の事業を行なうという理想的な団体になっています。今年度は古閑裕而関連事業、福島わらじまつりを主とする全ての事業において、G(義理)N(人情)O(思いやり)を持ち、しっかりと考え、計画し既成概念にとらわれず「まずはやってみる」そして振り返る。メンバーが様々な活動を通じて交流し、福島YEG全体が今までの文化を伝承しながら連携、活動し、さらに広く、厚い交流、連携、成長ができる活動を行って参ります。

③0 郡山商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和60年10月12日
- 会 員 数 / 155 名
- 卒 業 年 齢 / 45 歳 (48 歳 まで 資 格 延 長 可)
- 年 会 費 / 46,000 円
- 会 長 名 / 吉田 一成
- 事務局住所 / 〒963-8005
福島県郡山市清水台1-3-8
- 事務局連絡先 / TEL:024-921-2621
FAX:024-921-2640



単会
PR

青森むつ下北ブロック大会の開催誠にありがとうございます！郡山市は福島県のほぼ中央に位置し、交通の要衝・経済県都とも呼ばれている街でございます。来年、令和6年度には郡山で全国会長研修会も開催される予定です。今年度は「未来開拓 全力で前のめり、前進あるのみ」をスローガンに地域経済の発展を図る活動と会長研修会の準備に臨んでおります。東北の皆さん、来年は是非ふくしま郡山へとお越しくださいませ！

③1 会津若松商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和60年11月22日
- 会 員 数／87名
- 卒業年齢／45歳
- 年 会 費／30,000円
- 会 長 名／阿部 雄一郎
- 事務局住所／〒965-0816
福島県会津若松市南千石町6-5
- 事務局連絡先／TEL:0242-27-1212



単会 PR

当単会は、再来年度で40周年を迎えます。近年は、コロナ禍に翻弄されておりましたが、本年5月の緩和を受け、改めて地域の活性化へ活動を進めております。コロナ禍からの回復は簡単ではありませんが、スローガン「地域づくりは仲間づくり」にあるように、「ヒト」の繋がりに重点を置き、内部団結だけではなく、対外との連携にも力をいれ、会津を中心に地域一体となって、経済再生・地域活性化に取り組んで参ります。

③2 いわき商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和59年6月25日
- 会 員 数／48名
- 卒業年齢／50歳
- 年 会 費／24,000円
- 会 長 名／鈴木 大介
- 事務局住所／〒970-8026
福島県いわき市平字田町120ラトブ6F
- 事務局連絡先／TEL:0246-25-9151



単会 PR

令和5年度のいわき商工会議所青年部は、大きく2つの方針で活動しています。
① 会員相互のビジネスを知り、学びを求め活動範囲を広げよう！
商売のヒントは思わぬところに転がっており、業界だけのつながりでは発見できないことがほとんどです。商工会議所は異業種交流の場であり、相互の理解と議論することが大事だと考えます。また、親会の議員である会員を介し、親会事業にも積極的に参加、交流と学びを深めます。
② メンバー内での事業への積極的な参加の呼びかけ
商工会議所青年部に属する意義とは、例会など事業を企画し、検討を重ね運営していく中で得られる学びであると考えます。事業に参加できずとも、企画を練り上げることは大きな意味を持ち、仲間との関係性も深まります。活動になかなか参加できないメンバーにも、積極的に声掛けをして、会員の交流促進を図ります。

③3 白河商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和57年8月26日
- 会 員 数／62名
- 卒業年齢／45歳
- 年 会 費／40,000円
- 会 長 名／鈴木 桂祐
- 事務局住所／〒961-0957
福島県白河市道場小路96-5
- 事務局連絡先／TEL:0248-23-3101



単会 PR

高原都市と知られる白河市は福島県の南部に位置します。白河市は古くは奥州三関のひとつ「白河の関」があり、みちのくの玄関として多くの旅人や物資が往来して来たこともあり、市内には歴史ある名所史跡がたくさんあります。昨今では、白河市は「ラーメン」「自転車」「だるま」の街で有名です。まず、全国的に有名になりつつある白河ラーメンの雄『とら食堂』はNHKプロフェッショナルの流儀でも取り上げられ、全国から修行にやってくる名店です。次に、白河市では、高原環境が自転車競技選手の身体を鍛えるためか数多くのオリンピック選手を輩出しました。アテネ五輪で自転車競技銀メダルを獲得した伏見選手やその時の日本代表監督の班日秀雄氏は白河市で今も自転車指導に精を出しています。なかでも、白河YEGでは『ジロ・デ・シラカワ』という街中自転車レースの大会を開催。今年で10周年になります。さらに、白河商工会議所が生み出したダルマのヒーロー、ダルライザーは活動15年、2017年には映画化を果たし、ロコミで東京都内上映も実現しました。ぜひ白河の地へサイクリングに来て、ラーメンを食べ、ヒーローと握手に来ていただきたいです。

③4 原町商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和56年 6月29日
- 会 員 数 / 80名
- 卒 業 年 齡 / 47歳
- 年 会 費 / 36,000円
- 会 長 名 / 宮田 幸太
- 事務局住所 / 〒975-0006
福島県南相馬市原町区橋本町1-35
- 事務局連絡先 / TEL:0244-22-1141



単会
PR

原町YEGは、福島県の太平洋北部に位置する南相馬市原町区に所在しております。今年度は「Re: generation 心踊る未来へ」のスローガンのもと会員自身やその事業所の成長や発展に寄与する例会の開催や、近隣市町村の青年団体との交流会を開催することにより垣根を超えた幅広い世代や分野との情報交換会を開催しております。また、昨年、12年ぶりに開催したサマーフェスタin北泉は今年度も開催する予定となっており、福島県内の各単会からも出店等の協力を頂きながら北泉海岸の夜空に盛大に花火を打ち上げます。震災やコロナ禍を経て、再生と成長を繰り返してきた南相馬市を、さらに心躍る未来へ繋いでいくのが我々原町商工会議所青年部です。

③5 会津喜多方商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和42年11月25日
- 会 員 数 / 51名
- 卒 業 年 齡 / 45歳
- 年 会 費 / 24,000円
- 会 長 名 / 北見 剛史
- 事務局住所 / 〒966-0827
福島県喜多方市字沢ノ免7331
- 事務局連絡先 / TEL:0241-24-3131



単会
PR

昨年度までの3年間は、これまで経験したことのない大きな壁を乗り越えるべく選択と決断を繰り返しながら、常に前を向き活動して参りました。その経験を糧に、私たちはこれからの新しい喜多方の創造に向かって歩を進めていきます。3つの夢を描く委員会のもと活動を通して学びながらメンバー間の絆を深め、交流をもって本会の活性化につなげ、共に活動してくれる仲間を増やしたいと思います。メンバーひとりひとりが大きな夢を思い描き、形にできるよう、みんなで手を取り合い活動して参ります。

③6 相馬商工会議所青年部

- 設立年月日 / 昭和46年 4月 1日
- 会 員 数 / 51名
- 卒 業 年 齡 / 50歳
- 年 会 費 / 10,000円
- 会 長 名 / 飯塚 哲生
- 事務局住所 / 〒976-0042
福島県相馬市中村字桜ヶ丘71
- 事務局連絡先 / TEL:0244-36-3171



単会
PR

相馬市では東日本大震災、福島県沖地震で甚大な被害を受けました。度重なる災害も、我々相馬YEG、次代の先導者として、新しい文化的創造を持って、豊かで住みよい地域づくりに貢献します。相馬市は、「常磐もの」と言われる魚介類が200種類ほど水揚げされる豊富な漁場です。夏には遠浅で安全な海水浴が楽しめる原釜尾浜海水浴場が開場されます。また、毎年7月の最終土日に開催する「相馬野馬追」開催されます。併せて、夏の相馬を堪能しに遊びにお越しください。

③7 須賀川商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和61年 5月24日
- 会 員 数／65名
- 卒業年齢／48歳
- 年会費／25,000円
- 会長名／西藤 城太
- 事務局住所／〒962-0844
福島県須賀川市東町59-25
- 事務局連絡先／TEL:0248-76-2124



単会
PR

須賀川 Y E G は、日本三大火祭りの松明あかしやウルトラマン像がある街で、歴史や文化を活かしながら楽しく活動しております。

③8 二本松商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和54年 5月 1日
- 会 員 数／62名
- 卒業年齢／48歳
- 年会費／30,000円
- 会長名／関 健至
- 事務局住所／〒964-8577
福島県二本松市本町1-60-1
- 事務局連絡先／TEL:0243-23-3211



単会
PR

本年度は1年間の運動のテーマとして、「ちゃんとやれ！二本松 Y E G ～まずは自分たちから～」をスローガンに掲げ、運動を行ってまいります。コロナ禍の3年間、各地域のお祭りや運動が減少し、賑わいが失われつつあります。それを打破できる組織は私たち二本松 Y E G だと思います。コロナ禍は私たちに臆病にさせ、「やらなくてもいいんじゃないか」という曖昧な風潮を作り出し、地域が持つ積極性や行動力を奪ってしまいました。このような自粛ムードが残る中であっても、果敢に運動ができるのが我々 Y E G だと思います。だからこそ、ちゃんとやってほしいという思いを込めて、私自身を戒める意味も含め、このようなスローガンにしました。こんな状況だからこそ、逆境に負けずに、やるべきことをちゃんとやろう。まずは自分たちから。地域活性できるのは自分たちしかいません。会の存在意義を今一度鑑み、原点に回帰して自分たちの行動で示して参ります。一人の力では限られますが、先輩方や後輩のみんな、そして、今まで培った二本松 Y E G の歴史をもって、二本松をよくしていきたいと思っております。

単会紹介

青森県商工会議所青年部連合会

③9 青森商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和61年 7月10日
- 会 員 数／149名
- 卒業年齢／満50歳
- 年会費／50,000円
- 会長名／工藤 信孝
- 事務局住所／〒030-8515
青森県青森市新町1丁目2-18
- 事務局連絡先／TEL:017-734-1311



単会
PR

コロナ禍から力強く立ち上がり、本市の魅力や課題を改めて見直し、このまちを次世代、そして次々世代の子どものために発展させられるよう、「やるべ志」のスピリットで挑戦し行動し続けること、そしてそこから感動の輪を広げることがスローガンに、メンバーと共に2年間活動に邁進してまいります。

④弘前商工会議所青年部

- 設立年月日／平成元年7月11日
- 会員数／127名
- 卒業年齢／満50歳
- 年会費／40,000円
- 会長名／中村 好孝
- 事務局住所／〒036-8567
青森県弘前市上鞆師町18-1
- 事務局連絡先／TEL:0172-33-4111



単会
PR

第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会開催 誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。
 創立30周年を迎えた令和元年、10年ビジョンとして「創想愛」を掲げた弘前YEG。今まさにその折り返し地点であり、コロナ禍がもたらした地域経済の疲弊や10年ビジョンの検証から導き出された課題に立ち向かい、郷土に愛され郷土に必要とされる青年団体であり続けるため、そして地域が活性化するようなココロオドル事業を展開しております。
 近年の社会情勢による様々な変化に対応し、会員一丸となって変化を恐れない地域の先駆者となるべく、躍進して参ります。

④八戸商工会議所青年部

- 設立年月日／昭和62年10月13日
- 会員数／117名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／36,000円
- 会長名／松橋 里実
- 事務局住所／〒031-8511
青森県八戸市堀端町2-3
- 事務局連絡先／TEL:0178-43-5111



単会
PR

八戸YEGは昨年度創立35周年の節目を迎えました。30周年で掲げたビジョン「革進～innovation&evolution～」を継承し、今年度は、「原点回帰～活用できるYEGへの革進～」をスローガンに、目まぐるしく変遷する時代の中で先見の明を持ち、行動に移すことができる組織づくりを目指し、4委員会1班で各種事業を展開しております。
 令和5年度は商工会議所の本質である政策提言事業、国際港を擁する当地域ならではの港湾利活用の研究・臨港地区の賑わい創出、広域経済圏の視点でのビジネス活性化を目的とした産業展、地域振興策の一翼を担う青空マーケットへの支援、効果的な情報発信により地域のブランディングを図る広報事業など、各種事業に会員一丸となり積極的に活動しています。

④十和田商工会議所青年部

- 設立年月日／平成元年7月14日
- 会員数／73名
- 卒業年齢／50歳
- 年会費／18,000円
- 会長名／佐々木 佳弘
- 事務局住所／〒034-0082
青森県十和田市西二番町4-11
- 事務局連絡先／TEL:0176-24-1111



単会
PR

十和田YEGは1989年に発足し、今年で34年目を迎えました。
 十和田バラ焼きや十和田湖マラソンなどの名物事業が生まれ、地域発展に貢献してきました。会の特性として先輩が後輩と一緒に目線で事業に携わってくれ、面倒見がよいため和気あいあいとした会となっています。会員一丸となり十和田に活力を！！

④3 黒石商工会議所青年部

- 設立年月日 / 平成 3 年 3 月 27 日
- 会 員 数 / 41 名
- 卒 業 年 齢 / 50 歳
- 年 会 費 / 24,000 円
- 会 長 名 / 村上 慈人
- 事務局住所 / 〒036-0307
青森県黒石市大字市ノ町 5 番地 2
- 事務局連絡先 / TEL:0172-52-4316



単会 PR

藩政時代からそのままの形で残っている「こみせ」などの歴史的建造物や、「黒石よされ」などの脈々と受け継がれてきた素晴らしい観光資源の魅力を発信するために、会員ひとりひとりが郷土のことを愛し、次代の子供たちに伝え、歴史を学びそれぞれの根本を見つめ直し情熱を持って発信する。黒石商工会議所青年部全員が一丸となり、企業・行政・各種団体の方々と連携し、さらには他単会とも交流を図り、協力し合いながら、郷土の魅力を発信できるように精いっぱい取り組んでまいります。

④4 五所川原商工会議所青年部

- 設立年月日 / 平成 2 年 5 月 29 日
- 会 員 数 / 97 名
- 卒 業 年 齢 / 50 歳
- 年 会 費 / 24,000 円
- 会 長 名 / 山田 真一
- 事務局住所 / 〒037-0052
青森県五所川原市東町17-5
五所川原商工会館 5 階
- 事務局連絡先 / TEL:0173-35-2121



単会 PR

今年度25周年を迎えた五所川原立佞武多では、運行ルートを中心にありながら閑散とする本町商店街に賑わいを創出するため「ごしょがわらめじゃ〜ストリート」を開催。また、3月には冬のイベント「わいわいフェス」を官民一体となって計画しております。YEGメンバー同士の交流を深めながら、豊かで住みよい地域づくりへ貢献して参ります。

④5 むつ商工会議所青年部

- 設立年月日 / 平成10年 6 月 10 日
- 会 員 数 / 58 名
- 卒 業 年 齢 / 50 歳
- 年 会 費 / 40,000 円
- 会 長 名 / 横田 俊行
- 事務局住所 / 〒035-0071
青森県むつ市小川町二丁目11番 4 号
- 事務局連絡先 / TEL:0175-22-2282



単会 PR

第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会の開催にあたり、多くの皆様のご登録を賜り、厚く御礼申し上げます。むつYEGは今年度25周年を迎えます。歴代会長はじめOB・OGの諸先輩方が紡いできた歴史に加え、関係諸団体からのご支援・ご協力により、歩み続けることができました。これまでの25年への敬意と感謝を忘れず、更にこれから歴史を紡いでいくためにも「原点回帰」をスローガンとして歩み続けていく次第でございます。魅力溢れるむつ下北をこの機会にぜひご堪能下さい。

[MEMO]

A series of horizontal dashed lines for writing.



開催地 P R





日本商工会議所青年部 第43回全国大会

加賀能登の國 いしかわ小松大会



The 43rd YEG
National Conv.
in ISHIKAWA

Power of Community ISHIKAWA

すべては必然であり、必要であり、ベストのタイミングで起こる

2024 **3/13** WED — **17** SUN

主催：日本商工会議所青年部 主管：石川県商工会議所青年部連合会 副主管：北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会



日本商工会議所青年部 第41回 全国会長研修会

山海の楽園

こうち会議

百折不撓

ひゃく せつ ふ とう

未来への
扉をあけよう

令和5年

11月

16(木)日・17(金)日・18(土)日

主催:日本商工会議所青年部

主管:高知商工会議所青年部 副主管:高知県商工会議所青年部連合会



日本商工会議所青年部 第43回東北ブロック大会

秋田おおだて大会

会

あいえん

縁

～すべてはあなたとの出逢いから～

喜

きえん

縁

令和6年

10月4日(金)・5日(土)

主催：東北ブロック商工会議所青年部連合会 / 日本商工会議所青年部

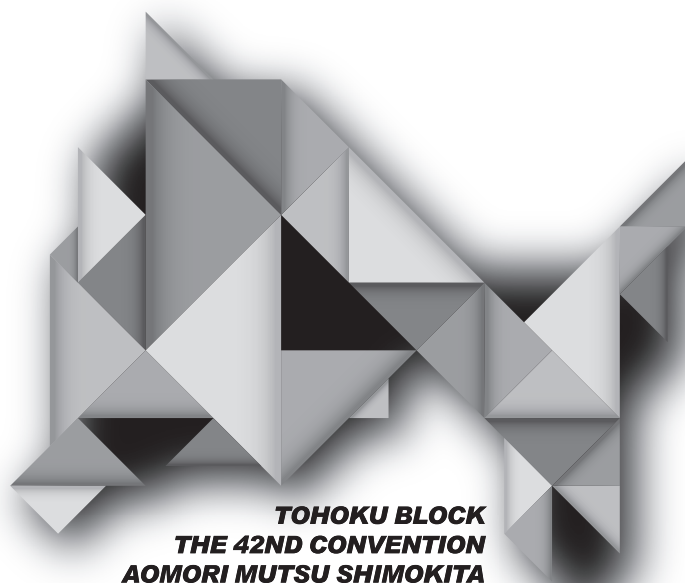
主管：大館商工会議所青年部 / 秋田県商工会議所青年部連合会



日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大大会

ご協賛企業・団体各位ご紹介

順 不 同



#CHANCE

❖ むつつの魅力の彩北体験



日本商工会議所青年部

第42回 東北ブロック大会 青森むつ下北大会 開催おめでとうございます！

てるさんガンバー (R6)♡



委員長 菊池 孝一 (五所川原 YEG)

若菜 克友 (栃木 YEG)	近藤 修弘 (小樽 YEG)	倉橋 豊 (武生 YEG)
齋藤 晃史 (むつ YEG)	村上 和洋 (郡山 YEG)	荒武 宗利 (北大阪 YEG)
堀 鼓多呂 (小松 YEG)	長沼 良二 (富岡 YEG)	森 貴行 (和泉 YEG)
古谷 正樹 (廿日市 YEG)	佐藤 浩由 (三島 YEG)	藤井 孝幸 (広島 YEG)
鈴木 哲 (一関 YEG)	関原 範之 (射水 YEG)	小野又 治伸 (山陽 YEG)
佐藤 新一 (秋田 YEG)	徳田 裕也 (白山 YEG)	森 洋貴 (阿南 YEG)
伊藤 敬 (盛岡 YEG)	山崎 年起 (長野 YEG)	泉 卓文 (高知 YEG)
佐々木 孝介 (恵那 YEG)	三輪 昌輝 (豊橋 YEG)	高木 潤一 (久留米 YEG)

令和4年度 企画委員会メンバー一同



日本商工会議所青年部

第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大大会

開催おめでとうございます。

テルさん!
頑張れ~もう1周半(笑)

委員 中居 利文
稚内YEG

委員 木村 治
大館YEG

委員 増山 隆
富山YEG

委員 鹿野 智資
益田YEG

委員長 古谷 正樹
廿日市YEG

委員 瀧口 敬史
小松YEG

副委員長 佐藤 新一
秋田YEG

委員 佐久間 哲平
五泉YEG

委員 齋藤 健司
釧路YEG

副委員長 齋藤 晃史
むつYEG

委員 伊藤 景子
八日市YEG

委員 瀨間 誠
富岡YEG

副運営幹事 園昇
鯖江YEG

委員 高橋 英彰
川口YEG

委員 古賀 正夫
小城YEG

副委員長 荒武 宗利
北大阪YEG

委員 大竹 雄介
岡崎YEG

委員 田上 達也
玉名YEG

委員 中村 孔保
広島YEG

委員 浪花 穰
普通寺YEG

委員 宮内 基希
鹿兒島YEG

委員 小林 孝章
福山YEG

委員 林 千晃
恵那YEG

委員 榊原 亘
豊橋YEG

副運営幹事 佐藤 大輔
久留米YEG

副委員長 小野又 治伸
山陽YEG

副運営幹事 鷗原 和義
郡山YEG

担当理事 菊池 孝一
五所川原YEG

副運営幹事 日和崎 守
高知YEG

令和5年度 企画委員会メンバー一同

有限会社 山本自動車

山 本 郷

1 月々
1 万円~
×84回



車検・整備

钣金

各種保険

4WDに
乗るなら **ナンバーワン・セット**

全部コミコミ 月々定額・低額で新車に乗れる全く新しいマイカーリースプランです!

新車市場 一関室根店

一関市室根折壁字月山下6-5

Tel (0191) 64-3330 Fax (0191) 64-2411

日本商工会議所青年部第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大会を応援しています!

 **日本商工会議所青年部**
YEG 第42回東北ブロック大会

青森むつ下北大会を 日本中のYEGが 応援しています



東海ブロック
代表理事
林 啓介

近畿ブロック
代表理事
本多 学

中国ブロック
代表理事
滝本 晋太郎

四国ブロック
代表理事
星場 俊之

九州ブロック
代表理事
平田 将士

北海道ブロック
代表理事
山本 秀也

東北ブロック
代表理事
山本 郷

第42回全国会長研修会
山海の樂園 高知会議
大会会長
三谷 剛平

第43回全国大会
加賀能登の國いしかわ小松大会
大会会長
小野 知一郎

関東ブロック
代表理事
杉澤 克久

北陸信越ブロック
代表理事
木村 広

祝

第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会開催

防衛省団体取扱代理店

(株)太田保険事務所

〒035-0084 むつ市大湊新町17-31

TEL (0175) **24-3252**

FAX (0175) **24-3674**





祝

**第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大会開催**

はりん

三章堂印房

〒035-0071 青森県むつ市小川町一丁目5番3号

TEL : **0175-22-0513**

FAX : **0175-22-5459**



第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会開催

有限会社 **むつ中央トラック**

代表取締役 横 田 俊 行

〒035-0011 青森県むつ市奥内字中道 23

TEL : **0175-26-2365**

E-mail : mct.yokota@gmail.com

MUTSU KIKUCHI GROUP

むつ菊池企業グループ



宴会 冠婚葬祭 総合式場

むつグランドホテル

フリーダイヤル0120-233-145

☎0175-22-2331

披露宴・宴会・法要のご会食、仕出しのご用命はむつグランドホテルへ。

■砕石資材販売業・運送業・土木建設業

株式会社 菊末産業

■生コンクリート製造・販売 (JIS認証工場)

むつアサノコンクリート株式会社

■ENEOS株式会社特約店



株式会社 菊池商会

■ENEOS大畑SS (株)菊池商会販売店



株式会社 佐藤石油商会

■貸切・乗用・乗合自動車運送業・旅行業

株式会社 尻屋観光

社会福祉法人 明和会

障害者支援施設 となみ療護園

共同生活援助事業所 となみ療護園横迎町ホーム

■自動車・建設機械整備工場

株式会社 むつ工業所

■トマト・野菜販売・農業体験

有限会社 石持グランドファーム

■建物総合管理業/建設資材販売業/自然環境事業

株式会社 となみ

日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大会を応援しています



R5日本YEG総務委員会

建物解体（犬小屋からビルまで） 産業廃棄物・一般廃棄物 収集運搬
中間処理処分業 土盛・土地造成などなど幅広く対応します！

株式会社東通運輸

むつリサイクルセンター

代表取締役 舘 進

本 社 青森県むつ市大曲3-13-8
TEL 0175-22-3911
FAX 0175-22-3917



一般電気工事・設計施工・発変電・送電・配電工事
各種照明器具販売・一般建設業
青森県知事許可（第11563号）

有限会社 北栄電工

代表取締役 木村 努

〒035-0033 青森県むつ市横迎町二丁目11の15
TEL (0175) **22-1759** FAX (0175) **22-0850**

一般区域貨物運送事業・産業廃棄物収集運搬処分業
土木工事一色・解体工事一色
砕石・砂利・砂・土販売

菊池トラック(株)

代表取締役 菊池 秋彦


〒035-0033 青森県むつ市横迎町二丁目12-3
TEL (0175) **23-0202**(代) FAX (0175) **22-3693**

青森県産業廃棄物協会会員・青森県解体業協会会員

**SPORTS
BRAN**

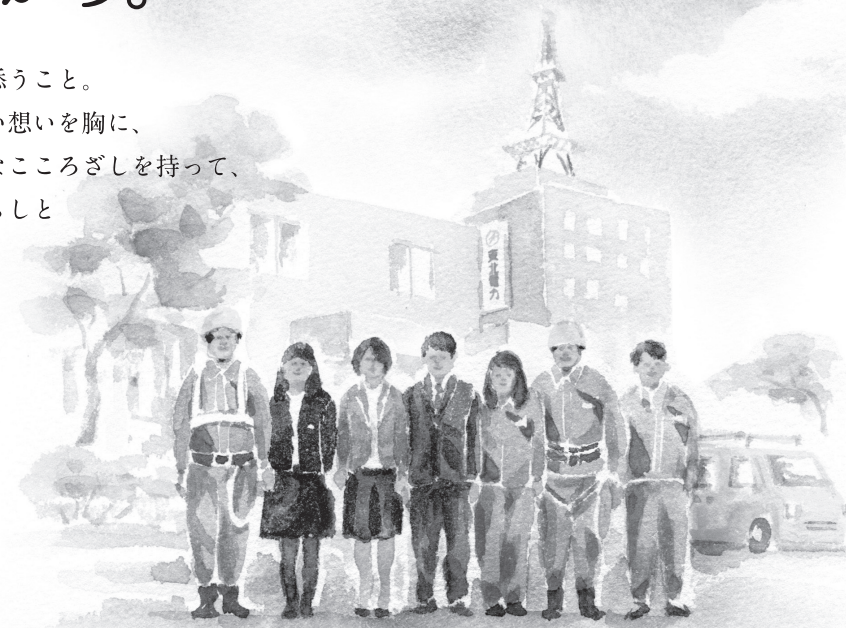
SPORTS BRAIN



より、そう、ちから。
 **東北電力グループ**

より、そう、ちから。

いつも、地域の皆さまに、寄り添うこと。
私たちの、創立以来の変わらない想いを胸に、
心からの感謝の気持ちと、大きなこころざしを持って、
これからも私たちは皆さまの暮らしと
地域の営みに寄り添い続けます。



「ニーズに、応える。」

協同印刷工業(株)は、時代のニーズに合わせて
応えるべく様々な取り組みを行い、
地域社会に貢献できるよう努めています。

協同印刷工業株式会社

KYODO DESIGN & PRINTING



〒035-0041 青森県むつ市金曲1-15-8
TEL 0175-22-2231 FAX 0175-22-0435



社会保険労務士

齋藤晃史事務所

特定社会保険労務士 齋藤 晃史

〒035-0061 青森県むつ市下北町14-12
TEL 0175-31-0409 FAX 0175-23-7303
MILE t-saito@saitousyaroushi.com
WEBSITE <http://saitousyaroushi.com/>

土地家屋 調査士

測量
登記

角野太土地家屋調査士事務所

土地家屋調査士
土地・家屋・登記測量

かど の ふとし
角 野 太

事務所 ☎035-0036 青森県むつ市栗山町22番7号
TEL (0175) 23-5150
FAX (0175) 23-7003

株式会社 漁善

青森県むつ市田名部町3番4号
TEL 0175-31-0582
FAX 0175-31-0583

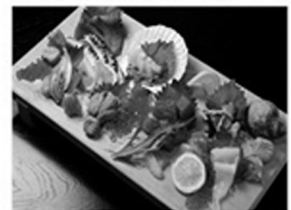


酒遊海峡 善

津軽海峡の獲れたての
魚介をご堪能ください。

むつ市田名部町3番4号
0175-22-7233

☎ 17:00~未店23:00迄 (ラストオーダー23:30) (休) 不定休



~東通村岩屋の
網元の食堂~

海峽食堂 善

下北郡東通村岩屋往未47-1
0175-47-2080

☎ 11:00~
未店14:00迄

(休) 4月~10月 大曜日
11月~3月 日曜日



旬の海の幸でおもてなし

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソンむつ緑ヶ丘バイパス店

TEL (0175) **33-1188**

ローソンむつ中央店

TEL (0175) **28-1129**

ローソンむつ大曲三丁目店

TEL (0175) **22-0111**

ローソン横浜町道の駅前店

TEL (0175) **78-2550**

祝 第42回東北ブロック青森むつ下北大会
応援しています！

ホテル太陽荘 
簡易宿泊所 民宿たいよう

お蔭様で41年目を迎えました

〒035-0021 青森県むつ市大字田名部字赤川1-12

TEL 0175-22-2219 年中無休

全室Wifi使えます。ビューン読み放題スポット。

お好きな映画やドラマをいつでも配信で見れる**VOD**サービスを開始。

ご自身のIDを入力すれば全室**55型TVの大画面**でprime videoやhuluなどもお楽しみ頂けます。リモコン左上「地デジ」を押しYouTubeなど各アプリボタンを選択して下さい。

豊かな自然で育った下北ワイン



Sun Mamoru Winery
下北ワイン サンマモルワイナリー

宅地建物取引業 <青森県知事免許(11)第1980号>

有限会社 **大 瀧 地 建**

代表取締役 大 瀧 孝 宏

・資金計画・公庫手続すべて代行致します。 ・自己資金不足の方でもお気軽に御相談下さい。
青森県むつ市柳町四丁目12番57号 TEL(0175) **22-7139** FAX(0175) **22-4481**

80th ANNIVERSARY
2023年6月
創業80周年を
迎えました

地域未来牽引企業

造る真心
受ける信頼

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

総合建設業・石油類販売業・自動車整備業

株式会社 熊谷建設工業

代表取締役社長 熊 谷 圭之輔

〒035-0073
青森県むつ市中央一丁目5番7号
TEL:0175-22-1141 FAX:0175-23-4541
URL:https://kumagai-kk.co.jp

Follow Me!

Designed by BCCP

鉄骨建築総合設計施工

Shoji

株式会社 庄子鉄工所

〒035-0043 青森県むつ市南赤川町10-20

TEL (0175) **22-1916**

損害保険生命保険募集代理店

有限会社 K & K

代表取締役 税理士 倉成 啓

〒031-0052 青森県八戸市本徒士町3-2

TEL (0178) **45-5271** FAX (0178) **22-1700**

～健全な企業の基礎を築く～

(有) 倉成会計事務所

税理士 倉成 諭 (田高5回生) 公認会計士 倉成 磨
公認会計士 倉成 美納里 税理士 倉成 啓

青森県八戸市本徒士町3-2 TEL0178-45-5271(代) FAX22-1700

清掃・設備・施設警備・貯水槽の清掃・空気環境測定
廃棄物収集運搬 建築物環境衛生総合管理業

東北ビルサービス株式会社

代表取締役 倉成 諭

〒031-0072 八戸市城下1丁目6-2 TEL0178-45-1101 FAX0178-45-1103

私たちは、総合ビルメンテナンス会社として、もっと安心に、
もっと清潔に、もっと快適に暮らせる街づくりを、ご提供いたします。



祝 第42回東北ブロック大会青森むつ下北大会



おみやげには 下北半島特産品を

公益社団法人下北物産協会

むつ市柳町1-10-25

まさかりプラザ売店(まさかりプラザ内) ☎0175-22-9161

まさかりプラザ下北駅前店 ☎0175-33-8110

不動産
アパート

株式会社



代表取締役 藤 林 吉 明

青森県むつ市金谷一丁目14-23 TEL (0175) **22-6333**

和 食

天一

青森県むつ市田名部町 2-32 電話**22-0881**

祝 第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大会

トータル葬祭コーディネーター

ベルホールむつ

(有)田中造花店 川 端 葬 祭

0175-24-3732 0175-22-0331

青森県むつ市旭町11-13

全葬連葬儀事前相談員資格認定 厚生労働省認定一級葬祭ディレクター

証明写真・デジタルプリント・出張撮影・ブライダル撮影
ムービー撮影・お宮参り・卒業・入学撮影・七五三・成人撮影

みやこカメラ店

青森県むつ市田名部町2-9 (田名部神社となり)

TEL (0175) **22-2430**



- 公益財団法人 東日本不動産流通機構会員
- 公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会会員
- 公益社団法人 青森県宅地建物取引業協会会員
(青森県知事免許(3)第3311号)
- 宅地建物取引士(青森)第3498号

事務所 / 〒035-0061 青森県むつ市下北町5番17号

フドサン ワクワク

FAX. 0175-23-0910 TEL. **0175-23-0909**

E-mail : yu1001me@eagle.ocn.ne.jp

株式会社 フジタ不動産

代表取締役 藤田鉄哉

- 物件によっては、価格等相談出来る部分もありますので、まずは御連絡下さい。
- 土地・建物を売りたい方、買いたい方、貸したい方、借りたい方不動産に関する事なら何でも御相談下さい。



建設資材・保安用品の販売・リース

明成建販(株)

代表取締役 大見竜人

本社・青森県むつ市若松町1-12

☎ **22-2001**(代) FAX**22-9164**

不動産のお悩み。
創業55年で築き上げた
信頼で答えます。
あなたの想いを紡いでいく・・・

不動産 賃貸・売買・管理



〒035-0051 むつ市新町16-5

☎0175-22-8080

<https://mutsufudousan.jp/>

街の話題に。

デザイン性の高いトレーラーハウスが揃っています。

トレーラーハウス販売店

PARKHOMES 青森店

〒035-0071 むつ市小川町2-13-43

☎0175-31-1370

<https://parkhome-aomori.jp/>

本州最北端の

グランピング施設・トレーラーハウスを
使用したカフェなどを併設した都市公園です。

「まちなか」にあるいつもの公園として、
下北半島の観光の拠点として、
ここから賑わいを発信していきます。

都市公園 宿泊 飲食 ドッグラン



PARK
DAIKANYAMA

〒035-0071 むつ市小川町2-13-43

☎0175-31-1370

<https://parkdaikanyama.jp/>

公認会計士 吉田柳一郎事務所

公認会計士 吉田柳一郎

〒035-0071 青森県むつ市小川町1-3-14 レトアB-201

TEL (0175) **22-5678** FAX (0175) **22-5851**

一般・産業廃棄物管理型最終処分場・産業廃棄物収集運搬業

地域とともに豊かな生活環境を守る

株式会社 青森クリーン

本社 〒035-0011 青森県むつ市大字奥内字二又22番地 TEL 0175-26-2188 FAX 0175-26-2189
青森営業所 〒030-0861 青森県青森市長島1丁目3番22号長和ビルA-205 TEL 017-718-4901 FAX 017-718-4902
浪岡事業所 〒038-1303 青森県青森市浪岡大字徳才子字山本105-59 TEL 0172-55-5705 FAX 0172-55-5706
<http://www.aomoriclean.co.jp/>

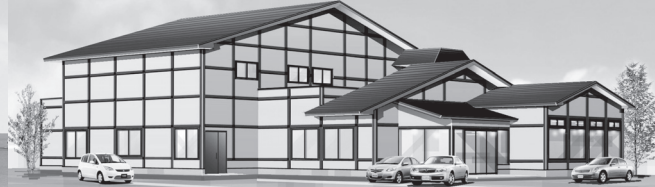


LINE@ お友だち登録で
2割引クーポン
@dgg5822e プレゼント!!

葬儀会館 眞心堂はやかけホール



葬儀会館 眞心堂ファミリーホール



事前相談・見積り承ります



有限会社 眞心堂

〒035-0021 青森県むつ市田名部樋川目23-5
<http://sin-sin-do.com/>

お問合せ先/眞心堂事務所まで

TEL 0175-31-1447



私の携帯に直接かけてもOKです!
090-2451-3841
お気軽にお問い合わせください!





大小宴会承ります

Phone (0175) **22-9288**

open 6:00pm~11:00pm <日曜・定休>

info@kurumaza.jp <http://www.kurumaza.jp>



むつ市料理飲食店組合

理事長 工藤卓三

〒035-0034 青森県むつ市田名部町2-17

TEL (0175) **22-9288** FAX (0175) **22-9288**

美容・婚礼・エステ 総合美容室

有限会社

SoNoDA ソノダ
ビューティスタジオ

ビューティスタジオ・ブライダル館・エステティックスタジオ

office 〒035-0071 青森県むつ市小川町二丁目7-20 ☎(0175)22-4145(代) FAX23-5445

代表取締役 其田 桂

雪印メグミルク(株)・太子食品工業(株)・グリコ乳業特約店
一般貨物自動車運送業

有限会社 イシダ

(むつ共配センター)

〒035-0042 青森県むつ市大曲2丁目13-18

TEL (0175) **22-8179** FAX (0175) **23-4358**



総合建設業

眞山内土木株式会社

山内土木は、人間と環境の調和を
めざし、地域と共に歩みます。

本社 〒035-0084 青森県むつ市大湊新町37番12号
TEL (0175) 24-2231 / FAX (0175) 29-2301



眼鏡・補聴器 **認定補聴器専門店**

聴いて快適、見て快適。

メガネの **のしや**

おかげさまで創業75周年! これからも、
より快適で上質な「大人のメガネ」をお仕立てします。

〒035-0071 青森県むつ市小川町 2-4-14
TEL : 0175-22-2932
MAIL : info@optical-fujiya.com
定休日なし (年末年始休業あり)
営業時間 10:00~19:00



ホーム
ページ



眼鏡・サングラス・雑貨 **correct megane**

あなたにとって正しいめがね。

**correct
megane**

店名は「コレクトメガネ」と読みます。
メガネ、サングラス以外にお茶など雑貨も扱っております。
スポーツ向けメガネ、サングラスの度付作製もおまかせ下さい。

〒035-0041 青森県むつ市金曲 1-2-7 苫生モール内
TEL : 0175-31-0768
MAIL : info@correct-megane.com
定休日なし (年末年始休業あり)
営業時間 10:00~19:00



ホーム
ページ

Lounge Bacchr's

—— バッカーズ ——

青森県むつ市横迎町 1-1-24 ミナト通り1F

ライフステージ からたち

代表 向井 仁

〒035-0051 青森県むつ市新町 8 番 7 号
TEL (0175) **22-8848** FAX (0175) **22-2391**

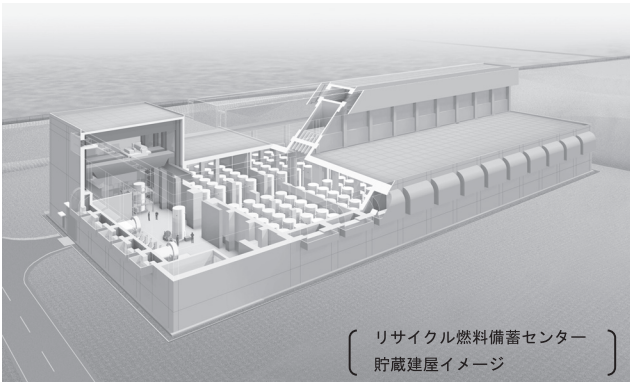


秀 建 築

一級建築士事務所

青森県むつ市下北町20-39

TEL (0175) **31-0787**



〔 リサイクル燃料備蓄センター
貯蔵建屋イメージ 〕

リサイクル燃料の貯蔵を通じて
かがやく未来のゆたかな暮らしに貢献します。

RFS リサイクル燃料貯蔵

〒035-0022

青森県むつ市大字関根字水川目 596 番地 1

TEL. 0175-25-2990 FAX. 0175-25-2991

<http://www.rfSCO.co.jp>

下北半島 明日の発展の為に微力ながら

北新機材 株式会社

土木・建築資材販売 建設機械・仮設材レンタル

代表取締役 中村 昭 芳

本社 青森県むつ市横迎町 2 丁目 21-12

TEL (0175) **22-8540**(代) FAX (0175) **23-4527**

<http://www.hokushinkizai.co.jp> E-mail info@hokushinkizai.co.jp

地域の防災の担い手として日夜貢献する！！

◇消防設備・設計・施工 ◇点検・整備

◇消防、防災、機材、用品等の販売 ◇危険物地下タンク点検

野口防災システム 株式会社

〒035-0063 青森県むつ市若松町5-1

TEL 0175-22-5600 FAX 0175-23-5600

E-mail nogutibs@mx35.tiki.ne.jp



愛される家具をめざして

M ムナト

家具サロン

むつ市田名部前田1-1 TEL22-2817(代)



佐々木電業

〒035-0091 青森県むつ市川守町18-24
TEL (0175) 29-2630

有限会社 むつ車体工業

代表取締役 齋藤 憲一

青森県むつ市南赤川町10-25

本社

TEL (0175) 22-3561(代)

FAX (0175) 23-3561

E-mail

0175223561@mutsusyatai.com

川内交通バス(バス事業部)

TEL (0175) 31-0227

かぎもとタクシー(タクシー事業部)

TEL (0175) 22-3121



福祉車両アドバイザーがサポートいたします!

フルメンテナンス

リフト・ステップが壊れても大丈夫! 安心して乗っていただけます!

改造・変更

使い勝手が良いのが一番!

中古車販売

予算も大切!即納車OK!

介護車両のことならおまかせ下さい



第42回東北ブロック大会 青森むつ下北大大会

祝

TOHOKU BLOCK
THE 42ND CONVENTION
AOMORI MUTSU SHIMOKITA

開催おめでとうございます。

有限会社 十字堂

代表取締役 山口博美

〒035-0075 青森県むつ市真砂町6-14

TEL 0175-29-1637

[E-mail] sign@jujido.co



花月 はなつき

藤本 朋実

〒035-0033 青森県むつ市横迎町1-1-11 はまなす通り2F
TEL (0175) **23-7446**

お電話 **1本** で不要な **粗大ゴミ** を収集!!

北進運輸



〒039-4401 青森県むつ市大畑町八幡湯坂2-175 FAX:34-1275

TEL: **0175-34-3036**

Q 北進運輸

見積り
相談は
お気軽に

有限会社 佐藤政商店

青森県むつ市横迎町1丁目5番9号

TEL (0175) **22-1191**(代)

カメラの **みなみや**

本店 青森県むつ市新町 TEL22-1054(代)

支店 マエダ本店 1F TEL23-3571

支店 ファミリースタジオ 4F TEL22-1070

フリーダイヤル TEL 0120-22-**3738**
みなみや

一期一会の出会いを大切に 親切・丁寧にお手伝い。

楽しい時間のプロデュース

- ・披露宴・各種イベント・パーティー等のトータルプロデュース
- ・コンパニオン・司会者の派遣

ご用命は

むつバンケットサービス

TEL (0175) **22-0359**

GROUP SHOP

スナック 黒水仙

TEL (0175) **23-5151**

有限会社 **吉田ベーカリー**

本店 **もんぶらん**



(南) 吉田ベーカリー

パン・ケーキ・オードブル・弁当・飲み物各種
取りそろえてお待ちしております。

(にいさんのおいしいパン)

青森県むつ市新町9-25 ☎**23-0148**

下北、その厳寒の地に湧く**水**と、
選び抜かれた**米**。



日本酒	アルコール分17.0度	精米歩合60%
純米吟醸	内容量720ml	製造年月
製造者/有限会社 関乃井酒造	青森県むつ市柳町1-5-15	

有限会社 **関乃井酒造**

お酒は20才を過ぎてから

青森県むつ市柳町1-15-15 ☎0175(22) 3261

三入五観光



〒035-0071 青森県むつ市小川町二丁目3-32

TEL.(0175) **22-1188** FAX.(0175) **22-3375**

<http://www.miyago-kanko.com/>

下北半島の 旅のパートナー

団体・グループ旅行の足として

経験豊富なドライバーが皆様の旅をお手伝いします。



下北交通株式会社

☎0175-22-3221 FAX0175-23-4682

電気関連工事の設計・施工 承ります。



株式会社 新盛電業

SHINSEIDENGYOU Co., Ltd.

連絡先：TEL 0175-34-1441

青森県むつ市昭和町23番18号 ✉shinseidengyou@gmail.com



損保ジャパン
SOMPO ひまわり生命
第一生命 メットライフ生命

代理店

株式会社 むつ保険センター

お客さまに最適な保険を提供します。お気軽にご相談ください。

〒035-0062 青森県むつ市仲町 8-26

TEL **0175-34-9710** FAX **0175-34-9711**



郷土のためによりよい環境づくりを

株式会社 杉山建設工業株式会社

代表取締役 杉 山 幹 彦

専務取締役 杉 山 嘉 崇

〒035-0044 青森県むつ市赤川町14番10号

TEL (0175) **22-2151** FAX (0175) **22-2150**

吉 御菓子司

かきもと

電話 22-2461
むつ市新町7-7

昆布・わかめ・ほたて製品・海そう加工品



下北特産 おみやげ・ギフト

こんぶや

〒035-0072 青森県むつ市金谷一丁目17-8 (下北文化会館向い)

TEL・FAX **0175-22-4025**

ホームページアドレス <http://www.minamiya.co.jp>

各種自動車部品販売
メーカーと貴方を結ぶ最短路

 (有) 畑末部品商会

代表取締役 畑 中 一 之

青森県むつ市若松町1-25 ☎(0175) **22-1261** FAX(0175) **22-6430**

齊藤工建

「絆」「心」「安息」を求めた家づくり

2級建築士・1級建築施工管理技士

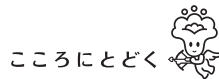
齊 藤 誠

〒035-0021

青森県むつ市田名部字前川目5-5(栴山)

TEL&FAX **0175-23-3651**

携 帯 **090-7066-5677**



こころにとどく
花キューピット 全国へお花をお届けします

フラワーショップ

(有) **花とも**

〒035-0071

青森県むつ市小川町二丁目5番1号

TEL (0175) 22-0878 オハナヤ

FAX (0175) 22-2878 ハナヤ



むつ市横迎町1-13-65 ☎(0175) 22-6464(代)

Coca-Cola **Michinoku**
Coca-Cola Bottling

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

〒035-0043 青森県むつ市南赤川町1-33

TEL (0175) 22-1250 FAX (0175) 22-7189

URL: <https://www.michinoku.ccbc.co.jp>

自衛隊グルメ提供店

中華そば・定食

駅 前 食 堂

お客様係 宮本 明

青森県むつ市下北町5-45 ☎0175-22-0860



宅建業許可 青森県知事(10)第2078号

青森都市開発株式会社

(一社)空家空地バンク会員 代表取締役 三浦 茂

不動産のことならなんでもご相談下さい。

〒035-0051 むつ市新町43番10号
TEL.0175-22-8094 FAX.0175-22-8096



未来の原子力を
一歩先のエネルギーを
共に考えサポートします

株式会社アトミックプラントサービス

代表取締役 大森 雅也

〒035-0054 青森県むつ市海老川町10-39
TEL 0175-**34-9781**

産業廃棄物収集運搬・中間処理業・運送業

有限会社 川西商会

〒035-0041 青森県むつ市金曲1-11-20
TEL (0175) **22-2176**
FAX (0175) **22-2177**

各種タイヤ販売

求める情報を 求めるカタチに

(有)大湊印刷

〒035-0085 むつ市大湊浜町20-15
TEL **0175-24-2241** FAX **0175-24-1156**
e-mail opc@pony.ocn.ne.jp

- 居酒屋 -
和風ダイニング

みらのや。

あまの命人

オーナー&料理長 大平 博信

むつ市上川町2-39-1F TEL(0175)23-2115
営業時間 11:00~14:00 17:00~22:00

ISLAND VISION

インターネットサービスプロバイダー レンタルサーバー・ネットワーク工事

株式会社 アイランドビジョン

代表取締役 福嶋 智治

〒035-0071 青森県むつ市小川町2-7-18 2F TEL0175-34-0837 FAX0175-34-0838

いつか心が帰るところ...

有限会社 小田桐石材

MORIBUTTER



〒035-0034
青森県むつ市田名部町9-15 1F
電話 0175-33-0407
代表 中里 美由紀

(有) 悠 優 友
アメニティ イン 悠
鹿島アメニティ イン

ポストンバックひとつで 長期・短期宿泊利用可

めし処 か さい

おいしい料理とお酒で楽しい一時をお過ごし下さい

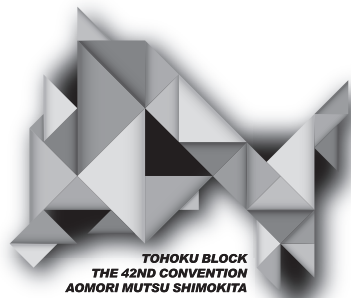
青森県むつ市大字田名部字品ノ木43-73

この記念誌を作成するにあたり、寄稿・写真提供
などご協力いただきました関係者の皆様並びに各関
係機関の皆様方に心より御礼申し上げます。


本誌作成におきましては、最善を尽くしておりま
すが、誤字・脱字・内容の誤り等がございましたら、
ご容赦願います。



日本商工会議所青年部
第42回東北ブロック大会



#CHANCE
むっつの魅力の彩北体験

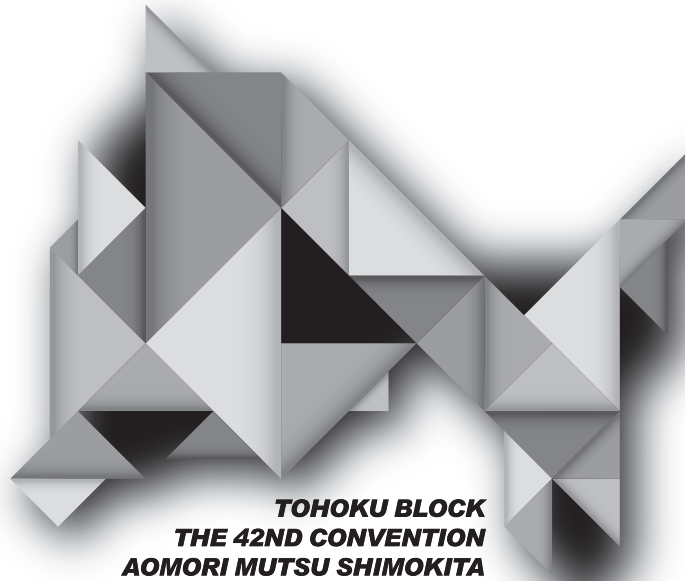
 日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会

青森むつ下北大大会

発行日 令和5年10月7日
主 催 東北ブロック商工会議所青年部連合会
日本商工会議所青年部
主 管 むつ商工会議所青年部
青森県商工会議所青年部連合会
編 集 第42回東北ブロック大会青森むつ下北大大会実行委員会
発 行 むつ商工会議所青年部
〒035-0071 青森県むつ市小川町二丁目11番4号
TEL0175-22-2282 FAX0175-22-0167
印 刷 協同印刷工業株式会社



日本商工会議所青年部 第42回東北ブロック大会
青森むつ下北大会



#CHANCE

❖むつつの魅力の彩北体験

多数のご登録ありがとうございました。

青森県商工会議所青年部連合会

青森商工会議所青年部
十和田商工会議所青年部
むつ商工会議所青年部

弘前商工会議所青年部
黒石商工会議所青年部

八戸商工会議所青年部
五所川原商工会議所青年部

